BRADY®
WHEN PERFORMANCE MATTERS MOST™



BMP®41 ラベルプリンター
ユーザーマニュアル

著作権

商標

2013年4月印刷
ソフトウェアバージョン2

Brady Worldwide Inc.
6555 West Good Hope Road
Milwaukee, WI 53223 U.S.A.
電話：414-358-6600（米国内）
FAX：414-438-6958

米国

注

本装置は FCC 規則パート 15 に準じて、クラス A デジタル機器の制限に適合することが試験で確認されています。この制限は、本装置が商業環境内で稼働する場合に、危険な妨害から合理的に保護できるようにすることを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射する可能性があります。それゆえ、取扱説明書の指示に従わずに設置、使用した場合、無線通信に有害な妨害をもたらす可能性があります。
本装置を住宅地域で稼働させると、有害な妨害を起こす場合があり、その場合本装置のユーザーは自費で当該妨害を是正する必要があります。

法令遵守担当の明確な承認なく変更または改変した場合、ユーザーは本装置の使用権を失うことがあります。

カナダ産業省

このクラス A デジタル装置はカナダ電磁波妨害対象装置の規制の要件をすべて満たしています。

Cet appareil numerique de la classe A respecte toutes les exigences du Reglement sur le Materiel Brouilleur du Canada.

欧州



本製品はクラス A 製品です。家庭内環境においては、本製品は無線妨害を引き起こす可能性があり、その場合ユーザーは適切な処置を講じる必要があります。



廃電気電子機器指令
欧州 WEEE（Waste Electrical and Electronic Equipment：廃電気電子機器）指令に基づき、本装置は地域の規則に従ってリサイクルされる必要があります。

RoHS 指令 2011/65/EU

本ステートメントは、Brady 製品が電気電子機器の特定有害物質使用制限に関する欧州連合指令 2011/65/EU に準拠していることを明らかにするものです。

電池指令 2006/66/EC



本製品はリチウム電池を内蔵しています。左のバツ印マークの付いた車輪付きゴミ箱は、欧州指令 2006/66/EC に基づき電池と蓄電池の「分別回収」を示す記号です。電池を分別せずに一般廃棄物として破棄することはできません。本指令は耐用年数を過ぎた使用済み電池、蓄電池の分別収集による回収とリサイクルの枠組みを定めたものです。電池は地域の規則に従って廃棄してください。

リサイクル業者に対する注意

リチウム電池の取り外し方

1. プリンターを分解し、メイン基板上のリチウム電池を確認します。
2. 取り外すには、電池受け中央のタブを押し込みます。基板から電池を取り出したら、地域の規則に従って廃棄します。

NiMH 電池の取り外し方

1. プリンターを裏返しにして、電池取り付け部分のカバーを開け、NiMH 電池を取り出します。
2. 電池をプリンターから取り出し、地域の規則に従って廃棄します。

BRADY の保証

当社製品は、購入者が実用についてテストを行い、使用目的に適合するかどうか自身で判断することを前提として販売されます。BRADY は購入者に対して当社製品が材料および仕上がりにおいて瑕疵がないことを保証しますが、本保証における製品の交換義務は、販売時点ですでに瑕疵があったと BRADY が見なした場合に限定されます。本保証は購入者から本製品を入手した人には適用されません。

本保証は、商品性または特定用途への適合性の黙示的な保証を含め（ただし、これらに限定されない)、他の明示的または黙示的保証のすべて、および、BRADY 側の他の義務と責任に代わるものです。いかなる状況においても、BRADY は当社製品を使用すること、または使用できないことに関連して発生した、あらゆる種類の損失、損害、出費または結果的損害について、責任を負いません。

ライセンス契約書の条件をよくお読みください。当該条件に同意できない場合は、本パッケージを直ちに返品してください。全額を払い戻しいたします。

テクニカルサポート

テクニカルサポートの電話番号/オンラインヘルプ

修理や技術的支援については、最寄りの Brady テクニカルサポート事務所を検索してください。

- 南北アメリカ：www.bradyid.com
- 欧州：www.bradyeurope.com
- アジア：www.bradycorp.com

修理および部品交換

Brady Corporation は修理と部品交換のサービスを行っています。修理と部品交換については、Brady テクニカルサポートまでお問い合わせください。

目次

はじめに

The BMP®41 ラベルプリンターは最大 1 インチ（25.4mm）幅までのダイカットテープや連続メディアに印刷できます。本製品には次のような機能があります。

- 特定のラベルタイプ作成を簡略化できるよう目的用途を設定
- 電池駆動—フル充電した Brady 電池パックで、1000 枚以上の Brady 標準ダイカットラベルに印字。



図 1：ダイカットラベルストリップ

- BMP41-BP NiMH バッテリーパックを充電しながら使用可能
- 大画面（240×160 ピクセル、50.39×33.59mm）
- 使いやすいグラフィカルユーザーインタフェース
- 印字解像度 300dpi
- USB 2.0
- ワンステップでメディア取り付け
- Brady の消耗品と賢く連動するスマートセルテクノロジー

プリンターの開梱

BMP®41 ラベルプリンターの標準パッケージには以下のものが同梱されています。



- BMP®41 ラベルプリンター
- BMP41-BP NiMH バッテリーパック（M41-BATT）
- MC1-1000-595-WT-B カートリッジ
- USB 接続ケーブル （M41-USB）
- AC アダプタ（M41-AC）
- プロダクト CD（英語クイックスタードガイド＆ユーザーマニュアル＆製品登録）
- Brady プリンタードライバーCD
- 日本語クイックスタートガイド＆ユーザーマニュアル CD
- 日本語クイックスタートガイド（文書）
- ハードキャリーケース（M41-HC）

BMP®41 ラベルプリンターでは以下の付属品も使用できます。

- ハードキャリーケース（M41-HC）
- BMP41-BP NiMH バッテリーパック（M41-BATT）
- 磁石（M41-MAGNET）
- バッテリークイックチャージャー（BMP41-QC）
- USB 接続ケーブル（M41-USB）
- AC アダプタ（M41-AC）

上記の付属品は個別またはキットとして代理店から販売しております。

梱包材の保管

BMP®41 ラベルプリンターを包む梱包材は、プリンターや付属品を代理店に返送しなければならない時のために保管しておいてください。


WARNING

必ず NiMH バッテリーパックを取り外した状態で BMP®41 ラベルプリンターを返送してください。
プリンターとバッテリーパックを両方とも返送する場合は、プリンターからバッテリーパックを取り出し、物品を元の梱包材に入れてから発送してください。バッテリーは必ず州、連邦、地方自治体の規則に従って出荷してください。NiMH バッテリーパック返送の際には宅配業者にご相談ください。

プリンターの登録

プリンターは www.bradycorp.com/register でオンライン登録をお願い致します。
無料の製品サポートと更新情報をご利用いただけます。

BMP®41 ラベルプリンターのシステム仕様

BMP®41 ラベルプリンターの仕様は次の通りです。

- 重さ 2.6 ポンド（1.2kg）
- 熱転写プリント方式、300dpi
- 光学登録システムで正確なプリント登録
- Softplast QWERTY キーパッドテクノロジー
- カスタムの True Type フォント
- 印字幅―最大 1 インチ（25.4mm）
- ラベルの最大プリント長：39 インチ（990.6mm）
- 1 回の充電で 1 インチ×2 インチのラベルを最大 1000 枚まで印字可能

物理特性および環境特性

BMP®41 ラベルプリンターの物理特性および環境特性は次の通りです。

物理特性	メートル単位	米国単位
寸法	292×91×152mm	11.5×3.6×6 インチ
重量（バッテリーパックを含む）	1.2kg	2.6 ポンド

注：次の表は BMP®41 ラベルプリンターのみを対象としています。消耗品のパフォーマンスは異なる場合があります。

環境特性	使用条件	保管条件
温度*（プリンター）	4～43° C（40～110° F） プリンターに AC アダプタを接続して使用する場合、アダプタの最高温度は 30°C（86°F）であることにご注意ください。	－18～43° C（0～110° F）
相対湿度（プリンター）	20%～90%（結露なきこと）	10%～90%（結露なきこと）

*BMP®41 ラベルプリンターは直射日光にさらさないようにしてください。



本機を水周り、直射日光のあたる場所、加熱装置の近くで使うのは避けてください。

本書で推奨されている電池以外は使用しないでください。

ファームウェアの更新

BMP®41 ラベルプリンターの最新ファームウェアは Brady のウェブサイトからダウンロードできます。www.bradyid.com/BMP41 にアクセスして、Support>Downloads をクリックし、製品リストから BMP® 41 Label Printer を選択してください。

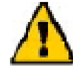
外観



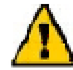
1	電源キー	5	ナビゲーションパッドとエンターキー
2	ファンクションキー	6	サムドライブポート
3	プリントキー	7	AC アダプタポート
4	フィードキー	8	USB ポート

電源

BMP®41 ラベルプリンターの電源は、BMP41-BP NiMH バッテリーパックか、AC 電源アダプタから供給されます。



バッテリーを 60°C（140°F）を超える温度にさらさないでください。
バッテリーパックを分解したり酷使したりしないでください。
バッテリーパックを開けたり、壊したり、中の部品を交換したりしないでください。
バッテリーパックは BMP®41 ラベルプリンター専用です。
BMP®41 ラベルプリンターには、BMP-UBP 以外の充電式バッテリーパックを使用しないでください。
バッテリーの端子に金属などの導電性物質が触れないようにしてください。



バッテリーパックを火花や火炎などの熱源に近付けないでください。
バッテリーパックを水に近付けないでください。
バッテリーパックの上に物を置かないでください。
バッテリーパックは涼しく湿気のない場所に保管してください。
バッテリーパックは子供の手の届かない場所に保管してください。
廃棄時はバッテリーに衝撃が加わらないように特に取扱いに注意してください。
バッテリーパックは連邦、州、自治体の規則に従って、適切にリサイクルまたは廃棄してください。



二次電池やバッテリーを分解したり、開けたり、裁断したりしないでください。
電池やバッテリーを熱や火炎にさらさないでください。直射日光のあたる場所に保管するのは避けてください。
電池やバッテリーを短絡させないでください。電池や電池を箱や抽斗の中に無造作に保管しないでください。電池同士、または金属などにより短絡の原因になります。
使用するまで、電池やバッテリーの包装を解かないようにしてください。
電池やバッテリーに機械的な衝撃を与えないでください。
電池の液漏れが発生した場合は、液体が肌に触れたり目に入ったりしないようにしてください。肌や目に触れた場合は、触れた部分を多量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
本装置用に提供されたもの以外の充電器を使用しないでください。
電池、バッテリー、装置の陽極（＋）と陰極（－）を確認し、正しく使ってください。
本装置用でない電池やバッテリーを使用しないでください。
メーカーや容量、寸法、種類の違う電池を同じ機器内で混在させないでください。
アルカリ電池を使用する場合は常に新品のものを使い、古い電池と新品の電池を混在させないでください。
電池とバッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。
電池やバッテリーを飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
装置にあった正しい電池またはバッテリーを購入してください。
電池とバッテリーは汚れや湿気を避けてください。
電池やバッテリーの端子が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
二次電池とバッテリーは使用前に充電してください。必ず適切な充電器を使い、正しい充電方法についてはメーカーや取扱説明書の指示に従ってください。
バッテリー未使用時に、長時間充電したままにしないでください。
長期間保管した場合は、最大限の性能を取り戻すために電池やバッテリーの充電と放電を何度か繰り返す必要がある場合があります。
二次電池とバッテリーは通常の室温（20°C±5°C）で使用した場合に最大の性能を発揮します。
後で確認できるように製品カタログを保管しておいてください。
電池やバッテリーは本来の用途にのみ使用してください。
可能な限り、未使用時はバッテリーを装置から取り外してください。

BMP41-BP NiMH バッテリーパックの装着

BMP41-BP NiMH バッテリーパックを使用する場合は、バッテリーパックに付属の指示書に従って充電と放電を行うようにしてください。

1. プリンター背面のカバー止めを下に押し、バッテリーカバーを上に開けます（カバーは外れます）。
2. バッテリーのラベルを外に向け、バッテリーピンを上部の電池受けの穴に合わせて入れます。次にバッテリーを下に押し込んではめ込みます。
3. バッテリーカバーのヒンジを電池受け下部に差し込み、カバーをカチッという音がするまではめ込みます。

バッテリーカバー



バッテリーピン



ヒンジ



AC 電源アダプタ

プリンターは AC/DC 電源アダプタで駆動することもできます。電源アダプタ使用時にバッテリーパックがプリンターに入っている場合、バッテリーは充電されます。



BMP®41 ラベルプリンターの電源供給には、必ず下の表に示す Brady 製 DC18V、3.3A の AC/DC アダプタのみを使用してください。

Brady AC アダプタ

カタログ番号	地域
M50-AC	北米、オーストラリア
M50-AC-INTL	欧州
M50-AC-AR	アルゼンチン
M50-AC-BR	ブラジル

アダプタの装着

プリンターは指定の AC 電源アダプタで駆動することができます。アダプタを差し込むと、電池受けに BMP41-BP NiMH バッテリーパックが入っている場合、充電が行われます。

1. アダプタケーブルの丸い端子をプリンター背面の差し込み口に差し込みます。
2. ケーブルのもう一方のプラグをコンセントに差し込みます。



接続

BMP®41 ラベルプリンターには USB ポートがあり、本製品を PC に接続することができます。ラベルをさまざまなアプリケーション（ラベリングソフト LabelMark™など）で作成してから、データを BMP®41 に送って印刷することができます。印刷したいファイルをサムドライブに保存し、それを BMP®41 ラベルプリンターに直に接続することでファイルを転送することもできます。



1 AC アダプタポート
2 USB ポート
3 サムドライブポート

PC への接続

Brady PC ラベリングプログラムから BMP®41 ラベルプリンターにデータを送るには、BMP®41 ラベルプリンタードライバーをインストールする必要があります。プリンタードライバーは BMP®41 ラベルプリンターパッケージに同梱の Brady プリンタードライバー CD に格納されています。

プリンタードライバーをインストールするには、以下の手順に従います。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. Brady プリンタードライバーCD をご使用中のコンピュータの CD ドライブに入れます。

プリンタードライバーウィザードが起動します。

3. 画面の指示に従って特定のドライバーをインストールします。

注：USB ケーブルで接続中にプリンターとホストコンピュータの接続が切れた場合は、プリンターの電源を切ってから再起動し、接続を再開させてください。

プリンタードライバーのダウンロード

プリンタードライバーは Brady の Web サイト www.bradyid.com/bmp41. からダウンロードすることもできます。Web サイトで、Support>Printer Driver を選び、画面の指示に従ってください。

一時停止/カットの設定

プリンタードライバーをインストールしたあと、プリンターにアクセスして一時停止/カットの設定をします。

1. Windows XP では、スタートをクリックし、設定>プリンターと FAX を選択します。

   または、

   Windows 7 では、スタートをクリックし、デバイスとプリンターを選択します。

   または、

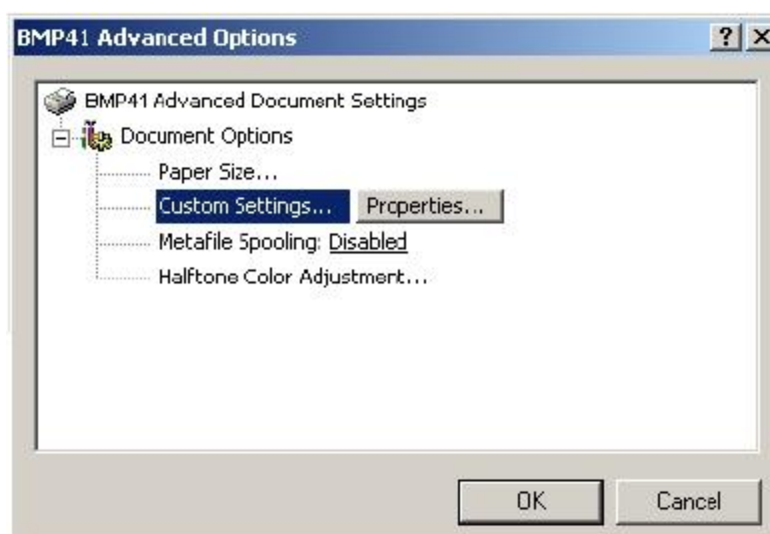
   Windows 8 では、Charms バーの検索機能から、デバイスとプリンターを検索します。

2. 利用可能なプリンターのリストから、BMP41 を右クリックし、印刷設定を選択します。

印刷設定のレイアウトタブが表示されます。

3. [Advanced...] ボタンをクリックします。

4. Advanced Options 画面で、Custom Settings の Properties ボタンをクリックします。



5. Custom Settings 画面で、Cutter Option フィールドの下矢印をクリックし、各ラベルの終わりでカットするためにプリンターを停止するか、ジョブ終了後にプリンターを停止するか選択します。



6. OK をクリックして変更を反映させます（印刷設定画面を出るまで、OK を何度かクリックしなければならないこともあります）。

メディアカートリッジ

BMP®41 ラベルプリンターのメディアおよびリボンサプライはプラスチック製のカートリッジに組み込まれていて、ワンステップで簡単に取り付けられます。カートリッジを取り付けるには、以下の手順に従います。

カートリッジの取り付け

1. プリンターカバーを開けるには、ツマミを押すか引き上げます。
2. ヒンジフィンを持ちながら、カートリッジをカートリッジ入れに落とし、カチッと音がするまで優しく押し込みます。ロックレバーを右に動かし、カートリッジの位置をロックします。

   カチッと音がするまでカバーを押し下げて閉じます。



カバーが開いていてもプリンターを操作できますが、印刷中も待機中もカバーを閉じたままにすることをお勧めします。

カートリッジの取り外し

メディアカートリッジを取り外すには、以下の手順に従います。

1. プリンターカバーを開けるには、ツマミを押すか引き上げます。
2. カートリッジのロックを外すには、ロックレバーを左に動かします。
3. プリンター背面の丸い排出ボタンを押してカートリッジを浮かせます。
ヒンジフィンをつかみ、カートリッジをカートリッジ入れから引き上げます。



カートリッジが空になったら、地域の規則に従ってリサイクルしてください。

ディスプレイ下部のメディアゲージにメディアの残量が表示されます。カートリッジは乾燥した涼しい場所に保管してください。未使用のメディアは 6 ヶ月を過ぎると劣化が始まります。



カートリッジベイには静電気に弱い部品や組立品があります。カートリッジの取り付け、取り外しの際には、部品を壊さないよう十分ご注意ください。

電源投入

装置の電源をオン/オフするには、次の操作を行います。

1. Power を押します。

電池寿命を延ばすために、プリンターは一定時間操作のない状態が続くと自動的に電源を切ります。自動停止時に表示されていたデータは保存され、次に[Power]ボタンを押してプリンターを再起動した時に再び表示されます（停止遅延時間の設定については29 ページを参照してください）。

最初に電源を投入した時に、画面に表示する言語を選びたい場合は、セットアップ機能から言語を選択できます（詳しくは、31 ページの「言語設定」を参照してください）。

プリンターの電源が投入されるたびに、システムは初期化を行います。このプロセスで挿入されているメディアが認識されます。メディアを入れずに電源を入れることもできますが、何も入れず電源を入れると、プリンターは最後に挿入されたメディアを認識した状態に戻ります。

表示画面

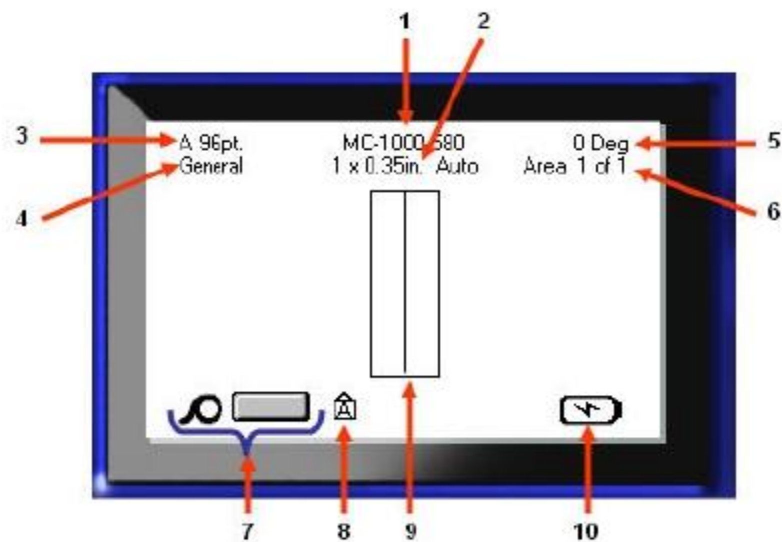
画面にはフォント属性やフォーマット機能が直接表示され、ユーザーはそれを見ながらデータを入力したり編集したりできます。

画面には一度に 1 つのラベル、またはマルチエリアラベルの 1 つのエリアが表示されます。

マルチエリアラベルの全体像を見るには、プリントプレビュー（81 ページ参照）を利用します。

ステータス情報

画面上部と下部は常時ステータスバーとなっていて、次の情報を表示します。



1	ラベルの品番	6	現在のラベルのエリア数
2	ラベルのサイズ	7	メディア残量
3	フォントサイズ（自動サイズインジケーター付き）	8	大文字入力オンの表示
4	ラベルの種類	9	エディタウィンドウ
5	回転角度	10	バッテリー充電中またはバッテリー残量

キーパッド

ナビゲーションキーと編集キー

機能	キー	説明
ナビゲーションキー		ナビゲーションキー ・テキスト行では、カーソルを左右 1 文字ずつ、または上下 1 行ずつ移動します。 ・メニューでは、1 次メニューの選択項目を左右に移動、2 次メニューまたはサブメニューの選択項目を上下に移動します。 ・ダイアログボックスでは、フィールド内を上下左右に移動。ドロップダウンリストのフィールドでは、OK を押した後、カーソルをリスト内で上下に移動します。 ・プリントプレビューでは、ラベル内の複数のエリアを左右にスクロール表示します。
エンターキー		・ラベルに新たな空の行を 1 行追加します。 ・メニュー項目や属性を決定します。
代替機能キー	FN	・一部キーに付いている代替機能（金色の文字で表示）と組み合わせて使用します。FN キーを押し、次に代替機能キーを押します。 または、 FN キーを押しながら、代替機能のあるキーを押します。 ・英字キーの特殊文字を出すために使用します。
バックライトキー	FN + SPACE	光の少ない場所で画面を読みやすくします。

機能	キー	説明
バックスペースキー	← CLEAR	・ 左に移動しながら文字を 1 文字ずつ消去します。 ・ メニューオプションや機能の 1 画面前に戻ります。 注：メニューや機能の階層をどの程度進んだかによって、バックスペースキーを何度も押さなければならない場合があります。
Caps Lock キー	FN + FONTS CAPS	入力データを大文字に固定するためのトグルボタンとして機能します。
Clear キー	FN + ← CLEAR	データを画面から消去します。
Superscript キー	FN + SUP Q	・ 次に入力する文字を上付きにします。テキスト行のやや上に表示されるようになります。 ・ 文字をハイライトしてからキー を押した場合は、その複数の文字が上付きになります（文字のハイライトについては 42 ページを参照してください）
Subscript キー	FN + SUB W	・ 次に入力する文字を下付きにします。テキスト行のやや下に表示されるようになります。 ・ 文字をハイライトしてからキー を押した場合は、その複数の文字が下付きになります（文字のハイライトについては 42 ページを参照してください）
次のエリアに移動	FN + NEXT AREA AREA	マルチエリアラベルで、現在のエリアから次のエリアに移動します。
前のエリアに移動	FN + PREV AREA ⓘ	マルチエリアラベルで、現在のエリアから前のエリアに移動します。

機能	キー	説明
テキストの ハイライト	SHIFT +	編集画面でテキストをハイライト（選択）します。キーを 1 回押すごとに左右どちらか 1 文字が選択され、すでに入力済みのテキストにフォント属性（太字、斜体、下線）を追加できるようにします。[SHIFT]キーを押しながら左右のナビゲーションキーを押します。
フォントサイズの増分	SHIFT +	編集画面で、フォントサイズをキーを 1 回押すごとに 1 ポイントずつ増減させます。 [SHIFT]キーを押しながら上下のナビゲーションキーを押します。
小数点	FN + L	小数点、またはピリオドを追加します。

ファンクションキー

機能	キー	説明
Setup キー	FN + PREVIEW SETUP	プリンターのデフォルトパラメータを設定します。
Print Preview キー	PREVIEW SETUP	ラベルの印刷した状態をプレビューで表示します。
Serial キー	FN + SETTINGS SERIAL	単一シリアル化、複数シリアル化、リンクしたＶシリアル化の値を設定します。
Label Settings キー	SETTINGS SERIAL	ラベル全体に作用するフォーマットを設定します（ラベルデータの中央揃え、ラベルのフレーミング、データの回転など）。
File キー	FN + LABEL TYPE FILE	ラベルを保存したり、開いたり、削除したりします。
Label Type キー	LABEL TYPE FILE	インストール済みの別アプリケーションやラベルタイプにアクセスします（ワイヤーマーカー、フラッグ、ターミナルブロックなど）。
Font キー	FONTS CAPS	フォントサイズや属性（太字、斜体など）を指定します。
Print キー	MULTI PRINT	ラベルファイル内のラベルをすべて印刷します。
Multi-Print キー	FN + MULTI PRINT	印刷前にさまざまな印刷パラメータ（印刷枚数、印刷範囲、ミラープリントなど）を設定するオプションを表示します。
Feed キー	FEED	メディアをプリンターに送ります。
Symbol キー	SYMBOL	プリンターで利用可能なさまざまな記号（グラフィック）にアクセスします。

機能	キー	説明
Barcode キー		テキストの文字列をバーコード形式で配置し、バーコードのオン、オフを切り替えます。
International キー	PREV AREA ⓘ	発音区別記号やアクセント記号など、国際アルファベット固有の文字にアクセスします。
Insert Time キー	FN + 1 INSERT TIME	プリンターに設定された現在時刻を挿入します。
Insert Date キー	FN + 2 INSERT DATE	プリンターに設定された現在の日付を挿入します。
Area キー	NEXT AREA AREA	ラベルのエリアの追加、削除、フォーマットを行います。

メニュー

メニューは画面下に表示され、ファンクションキー（画面左側のキー）で起動します。メニュー項目はナビゲーションキーで選びます。ナビゲーションキーを押し続けると画面に表示されていないメニューが表示されます。最後のメニュー項目に到達すると、メニューは最初のメニュー項目に戻ります。

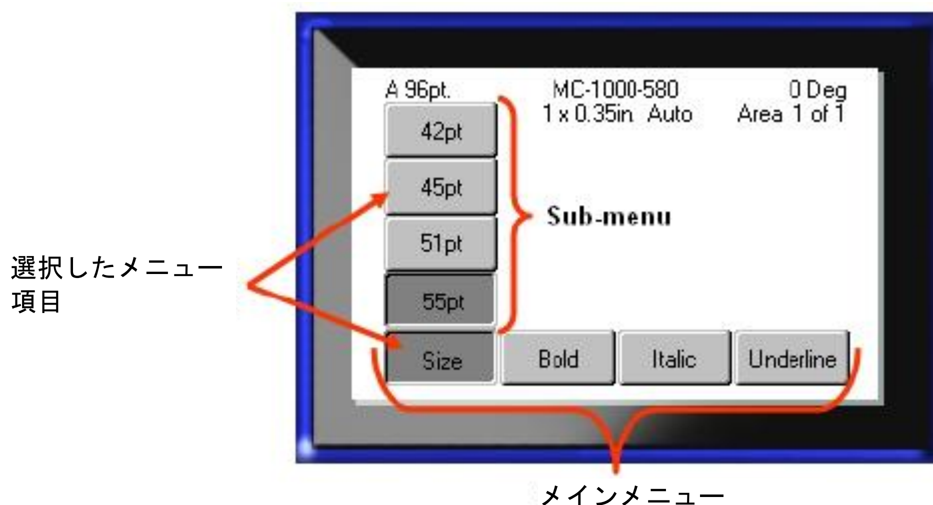


図 2：メニュー

メニューへアクセスするには、以下の手順に従います。

1. アクセスしたいメニューに対応するファンクションキーを押します。

その特定の機能に関するメニューの選択肢が画面に表示されます。

2. ナビゲーションキーの左右を押してメインメニュー項目にアクセスします。

移動したメニュー項目にサブメニューがある場合は、すぐにポップアップ表示されます。サブメニューへアクセスするには、以下の手順に従います。

3. ナビゲーションキーの上下を押します。

アクセスしたメニューが表示され、押されたボタンは濃いグレーの状態になります。

4. ハイライトしたサブメニューを起動するには、エンター を押します。

起動したメニューオプションは別のメニューオプションが起動されるまで有効です。

さまざまな機能やメニューの詳細は、本書のフォーマットのセクション（39 ページ）を参照してください。

ダイアログボックス

一部のファンクションキーでは、サブメニューではなくダイアログボックスが表示されます。

注：メインメニューオプションをハイライトした時にサブメニューがすぐに出てこない場合、そのメニューにはダイアログボックスが関連付けられています。

ダイアログボックスにアクセスするには、目的のメインメニューを選択した状態で、

1. エンター を押します。

ダイアログボックスが表示されます。

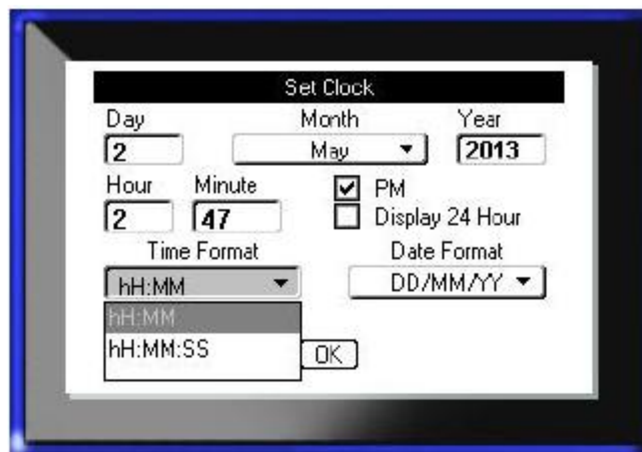


図 3：ダイアログボックス

2. ナビゲーションキーの上下左右を押してフィールドを移動します。

選択されたフィールドは濃いグレーになります。

ドロップダウンフィールドリスト

フィールドにドロップダウンリストが関連付けられている場合、フィールドの右側に下矢印が表示されます。ドロップダウンリストからオプションを選ぶには、以下の手順に従います。

1. エンター を押してドロップダウンリストを開きます。
2. ナビゲーションキーの上下で目的のオプションをハイライトします。
3. エンター を押してオプションを選択します。

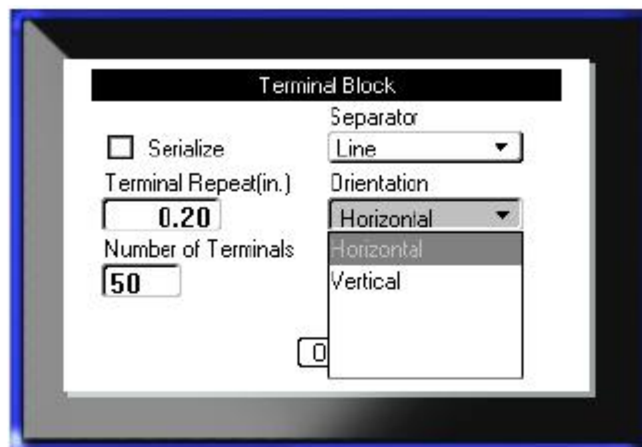


図 4：ドロップダウンフィールド

データフィールド

ユーザーががデータを入力する必要のあるフィールドでは、以下の手順に従います。

1. ナビゲーションキーでデータフィールドに移動します。
2. キーボードでデータを入力します。
3. データを入力したらナビゲーションキーで該当のフィールドから移動します。

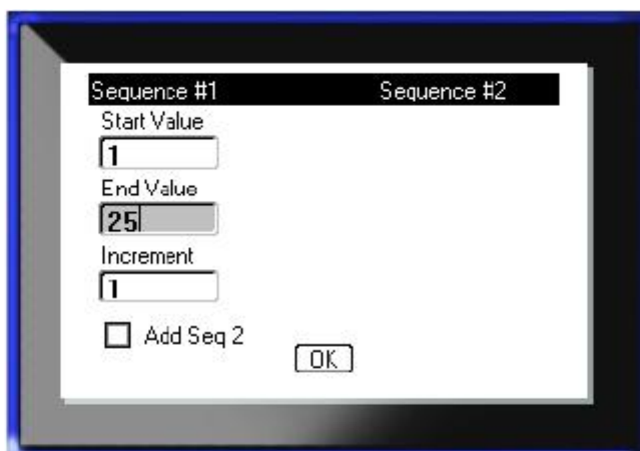


図 5：データ入力フィールド

スピンボックス

スピンボックスはフィールド内の値をボタンで切り替えられる機能です。
スピンボックスを使用するには、以下の手順に従います。

1. スピンボックスがあるフィールドに移動します。
2. エンター を押します。
3. ナビゲーションキーの上下である範囲の値を変更します。
4. 目的の値になったら、エンター を押します。

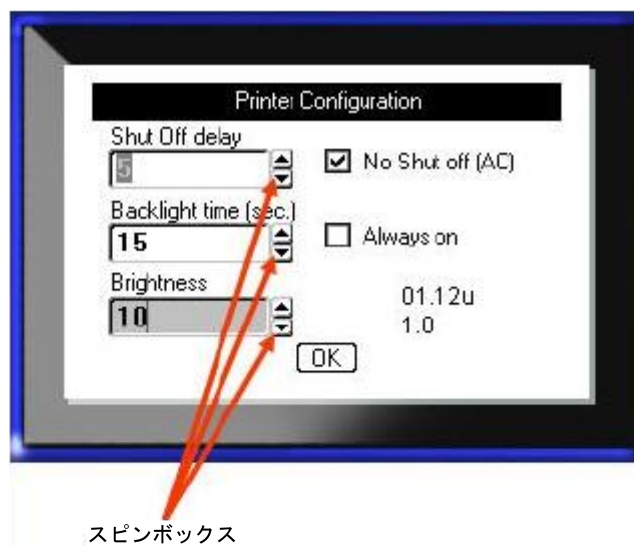


図 6：スピンボックス

注：スピンボタンのあるフィールドには、値を直接入力できるものもあります。フィールド内にカーソルがある場合、値を直接入力できることを示しています。

ラジオボタンとオプションボックス

ラジオボタンやオプションボックスの選択を切り替えるには、以下の手順に従います。

1. 目的のオプションに移動します。
2. エンター を押します。

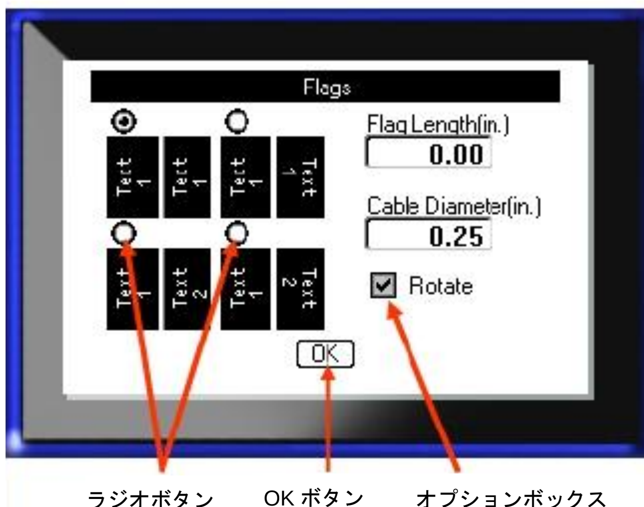


図 7 : ラジオボタン、オプションボックスと OK ボタン

ダイアログボックス編集内容の確定

ダイアログボックスの編集内容をすべて確定するには、以下の手順に従います。

1. ダイアログボックス下の OK に移動します。
2. エンター を押します。

メニューやダイアログボックスのキャンセル

変更を確定せずにメニューやダイアログボックスをキャンセルするには、次の操作を行います。

1. バックスペース CLEAR を押します。

Setup

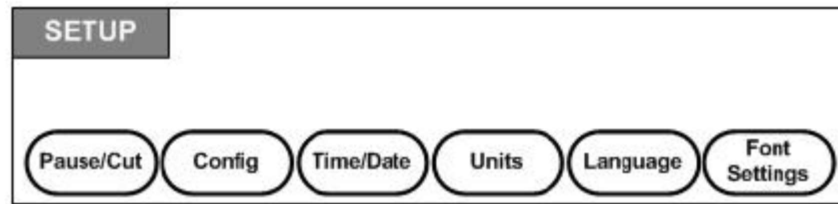


図 8：設定メニューオプション

Setup ファンクションキーはプリンターのデフォルト設定を決定するためのキーです。セットアップ機能を変更するには、以下の手順に従います。

1. Setup FN + PREVIEW SETUP を押します。
2. ナビゲーションキーで変更したいセットアップ機能を選びます。
3. エンター を押します。

特定のセットアップ機能にダイアログボックスが関連付けられている場合は、OK を押すとダイアログボックスが表示されます。

Pause/Cut

一時停止/カット機能は、プリンターからラベルを切断してから次のラベルの印刷に移る機能です。この機能をオンにすると、ラベルを続けて印刷する場合、ラベルが切断されてから次のラベルが印刷されるようになります。停止/カット機能をオンにするには、以下の手順に従います。

1. Setup FN + PREVIEW SETUP を押します。

Pause/Cut メニューが一次メニューの最初にあり、すでに選択された状態になっています。

2. ナビゲーションキーで、**Pause/Cut>On** を選択します。
3. エンター を押します。

注：ラベルの印字が終わるたびに切断するか、ジョブの最後に切断するかの一時停止/カットの選択は、プリンターのプロパティで設定する必要があります。この選択に関しては、本書 11 ページ を参照してください。

Config

セットアップ機能の Config メニューの下には以下の設定があります。

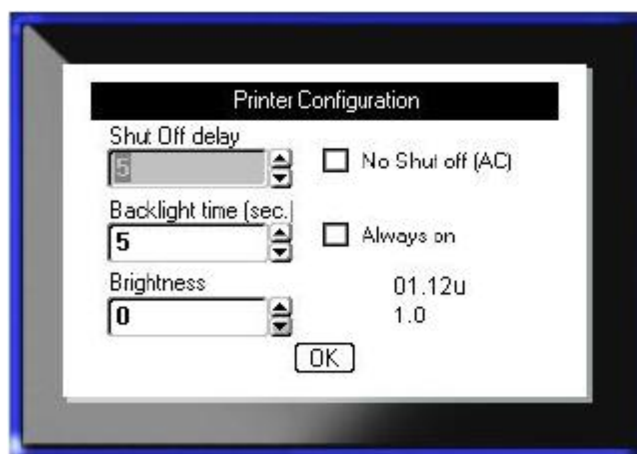


図 9：Setup 設定のプリンターコンフィグレーション

Shut Off Delay は自動オフまでの時間で、単位は分です。ここで指定した時間内に操作がなければ、プリンターは自動で電源が切れます。

AC アダプタで使用中は電源は一定で供給され、バッテリー消費はありません。この場合、No Shut off (AC)を選択しておけば Shut Off Delay を無効にすることができます。

Backlight time (sec.) はバックライトの自動オフまでの時間で、単位は秒です。ここで指定した時間内に操作がなければ、バックライトは自動で消えます。

AC アダプタ使用中、常にバックライトを点灯し続けたい場合は、Always on を選択します。

Brightness では画面の明るさを調整できます。

Time/Date

この設定は、セットアップ機能の Time/Date メニューの下にあります。Time/Date オプションの設定はプリンターの初回起動時に行ってください。

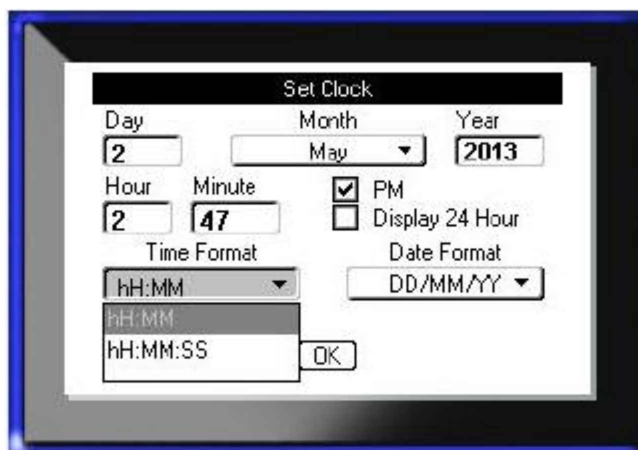


図 10 : セットアップ機能の Time/Date 設定

Units

Units 設定はプリンターでのラベルパラメータの測定値に使用します。単位は次の通りです。

- インチ
- ミリメートル

一回設定すれば、その後データフィールドに数値を入れる時に「インチ」や「ミリメートル」(または世界的に認められている省略形や記号)を指定する必要はありません。同様に、測定フィールドのスケールや範囲(スピンボックスを使用したりドロップダウンリストにあるもの)でも、測定範囲はセットアップ機能で選択された単位に自動で設定されます。

Language

セットアップ機能の Language メニューでは次の言語が選択可能です。

英語	ノルウェー語
フランス語	フィンランド語
スペイン語	スウェーデン語
ドイツ語	イタリア語
ポルトガル語	デンマーク語
オランダ語	

言語の初期設定

プリンターの電源を初めて入れた時には、すぐにセットアップ機能に進んで表示されるすべてのプリンターメニュー、機能、データの言語を選択してください。

1. Setup FN + PREVIEW SETUP を押します。
2. ナビゲーションキーを使用して、Language>*desired language* で言語を選択します。
3. エンター を押して選択を確定します。

Font Settings

Font Settings ではデフォルトのフォントとフォントサイズの計測単位（ポイントまたはミリメートル）を設定できます。デフォルトのフォント属性も指定できます。

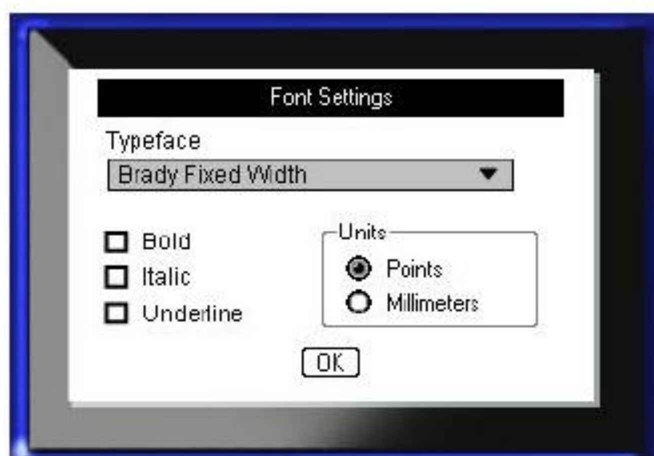


図 11：セットアップ機能のフォント設定

空白ページ

使ってみよう

このセクションでは、基本的な編集技術を使い、最低限のフォーマット設定でテキストラベルを作り、印刷する手順について説明します。

テキスト入力

ラベルのテキストを入力する前に、メディアカートリッジが取り付けられていて電源がオンになっていることを確認します。

画面上の縦棒はカーソルで、BMP®41 ラベルプリンターでラベルを作る時の起点となります。テキストの入力をカーソル位置から始めます。カーソルは入力が進むごとに画面を移動していきます。行を追加したい場合は、エンター を押します。

テキスト編集

入力したテキストに誤りがあった、もしくはラベルの内容やフォーマットを変えたい場合は、印刷前に内容を編集します。

テキスト挿入

テキスト行内にテキストを追加したい場合は、以下の手順に従います。

1. ナビゲーションキーで、テキストを挿入したい場所にカーソルを移動します。
2. テキストを入力します。

カーソル右側の既存テキストの部分は文字を追加するごとに右に動いていきます。
固定フォントサイズが選択されている場合、行末に到達するとデータは追加できなくなります。データを更に入力するには、エンター を押して行を追加するか、フォントサイズを小さくしてください。

テキストの削除

カーソル左側（逆方向）の文字を 1 文字削除するには、次の操作を行います。

1. バックスペース ← CLEAR を押します。

消去

CLEAR は画面からデータを消去する時、機能をキャンセルする時に使用します。

データの消去

データを消去するには、以下の手順に従います。

1. Clear FN + ← CLEAR を押します。

オプションが 2 つ提示されます。

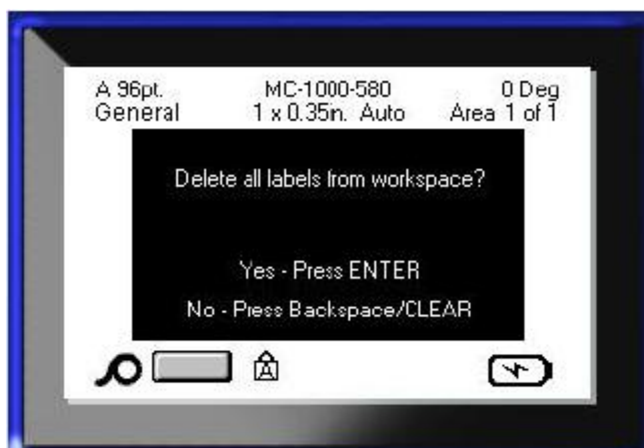
- Clear Text
- Clear All

Clear Text はラベルのデータがすべて削除されますが、フォーマット（フォントサイズ、エリア数など）はそのまま残ります。

Clear All はラベルのデータとフォーマットがすべて削除されます。

2. 目的のオプションを選択します。
3. エンターを押します。

Clear All を選択すると、次の確認メッセージが表示されます。



4. エンター を押して削除を確定します。

ラベルを削除したくない場合は、

5. バックスペース CLEAR を押して Clear All の操作をキャンセルします。

ラベルとデータがそのままの状態で元の画面に戻ります。

機能のキャンセル

バックスペース CLEAR は機能、メニュー、ダイアログボックスをキャンセルするためにも使います。機能の途中でバックスペースを押すと、1 つ前の画面に戻ります。
機能を完全にキャンセルするには何度かバックスペースを押す必要があることもあります。

エラーメッセージ

現在の状態で機能が動作しない場合、エラーまたは情報メッセージ（またはその両方）が表示され、問題があること、または状況についてのアドバイスが提示されます。メッセージをよく読み、指示に従ってください。

デフォルト設定

デフォルト設定はインストールされたメディアに合わせてプリンターが決定します。
ラベルサプライや使用するラベルタイプが再読み込みされると、デフォルト設定に戻ります。

フォントサイズ

フォントサイズは行ごとに設定されます。データ入力前にサイズが変更されると、該当行とその後の行のデータは、フォントサイズが再び変更されるまで、すべて新しく設定されたフォントサイズが適用されます。

すでにデータの入力された行のフォントサイズを変更すると、カーソルがどこにあるかに関係なく、行全体のサイズが変更されます。ただし、次のデータ入力済みの行のフォントサイズは変更されません。データ入力済みの行のフォントサイズは行ごとに変更する必要があります。

自動サイズ調整

自動サイズ調整は、最初はラベルに合う最大サイズが適用されます。テキストがラベルの端に到達すると、エンターを押すか、最小サイズになるまでフォントは小さくなっていきます。自動サイズ調整が有効で、行が複数ある場合、全行とも同じサイズに調整されます。

デフォルトでは、すべてのラベルについて自動サイズ調整はオンになっていて、ステータスバーの左上隅に「A」と表示されています。

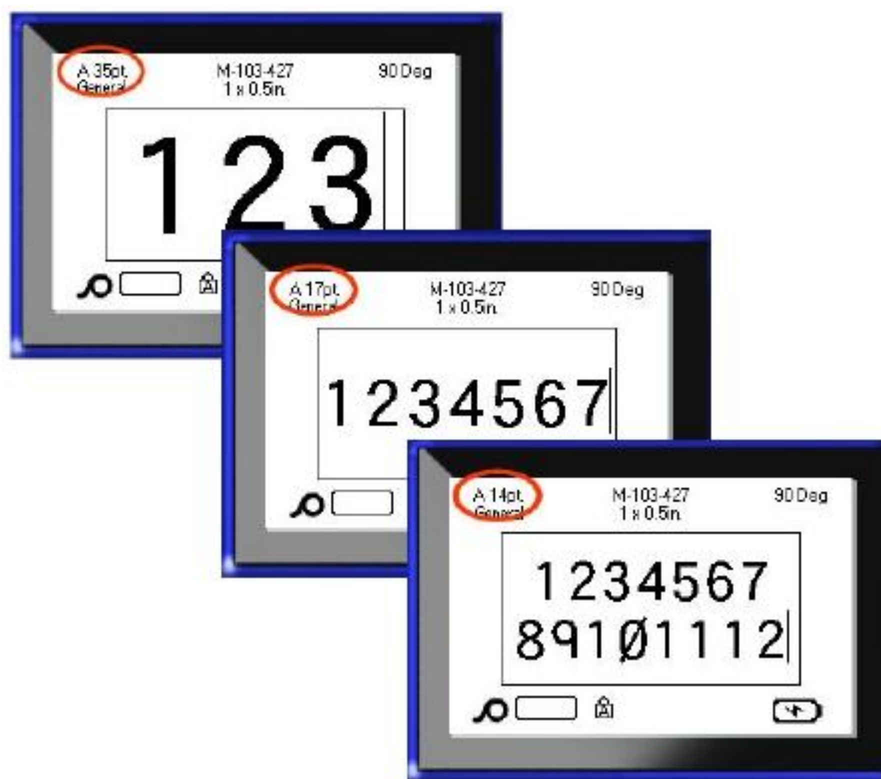


図 12：自動サイズ調整オンの状態で入力されたテキスト

自動サイズ調整をオンにするには（オンになっていなかった場合）、以下の手順に従います。

1. Font FONTS CAPS を押します。
2. **Size>Auto** を選択します。
3. エンター を押します。

自動サイズ調整は、別のフォントサイズが選択されるまで、エリアまたはラベル全体に対して有効になります。ただし、オフにした後も、自動サイズ調整によって入力されたテキストは自動サイズ調整で設定されたサイズでそのまま残ります。

ラベルの印刷

ラベルを印刷するには、以下の手順に従います。

1. Print MULTI PRINT を押します。

ラベルのカットのメッセージが表示されたら、

2. カッターレバーを最後まで押し下げます。



カッターレバー　ラベル出口

ラベルが完全に切れるまで、メッセージは消えません。

注：手動でラベルのカットのメッセージを消して印刷を続けると、カットしきれていないラベルは詰まりの原因になります。印刷を続ける前に、ラベルを完全に切断するようにしてください。

ラベル出口にはゴム製グリップがあり、ラベルが切れた後に落ちないようになっています。

3. ラベル出口からラベルをゆっくり引き出します。

BMP®41 ラベルプリンターの印刷はバックグラウンドで実行されるので、ラベルを印刷中にラベルの編集や新規作成を続けることができます。

空白ページ

フォーマット設定

フォーマットはラベルのレイアウト、構造および外観を指します。フォント、ラベルおよびエリアの機能の下にそれぞれ異なるフォーマット設定があります。

フォント

FONT

Auto				50%
Custom				70%
4 pt				80%
6 pt				90%
7 pt	Off	Off	Off	100%
9...102 pt	On	On	On	125..200%
Size	Bold	Italic	Underline	Exp/Cond

図 13 : Font メニューオプション

文字と行のフォーマットは属性と呼ばれ、サイズ、強調（太字）、角度（斜体）など、フォントの外観を変えるものです。

サイズ

フォントサイズはデータの行全体に同時に適用され、単位はポイントかミリメートルで、Setup 機能の設定で決まっています。フォントのサイズを変更するには、以下の手順に従います。

1. Font FONTS CAPS を押します。

サブメニューに、取り付けられているメディアで利用可能なフォントサイズが表示されます。

2. Size で目的のサイズを選択します。
3. エンター を押します。

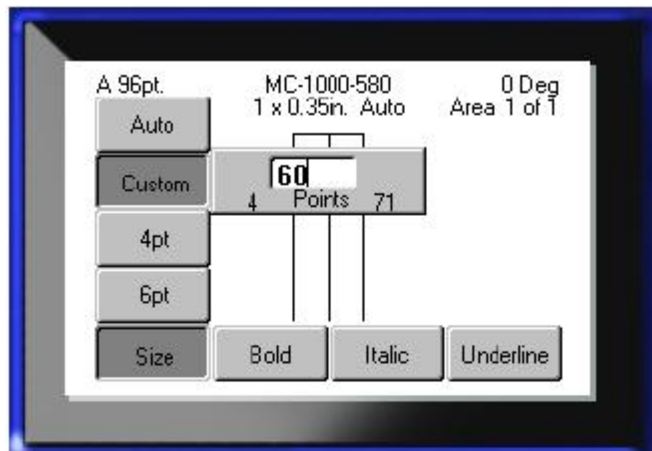
カスタムサイズ

選びたいサイズがない場合は、有効な範囲内でフォントサイズを手動で入力できます。このオプションは Size メニューの Custom で利用できます。

フォントサイズを手動入力するには、以下の手順に従います。

1. Custom を選択し、フォントサイズを入力します。
2. エンター を押します。

カスタムのフォントサイズを入力する際には、プリンターに取り付けられたラベルサイズに収まる最小/最大フォントサイズの範囲が表示されます。最小サイズは読みやすさを考慮したもので、最大サイズはラベルに合う限界を示しています。最小サイズより小さい数値、または最大サイズより大きい数値を入力すると、入力したサイズが下限または上限を超えていることを示すエラーメッセージが表示されます。



ショートカット

フォントサイズはナビゲーションキーで 1 ポイントずつ増減させることもできます。

1. [Shift] キーを押しながら上下のナビゲーションキーを押します。目的のフォントサイズになるまで続けます。

フォント属性

フォント属性（太字、斜体、下線）は行内の文字ごとに設定できます。

属性を有効にするには、以下の手順に従います。

1. 属性を有効にした文字の開始位置にカーソルを動かします。
2. Font FONTS CAPS を押します。
3. 属性を選び、ON を選択します。
4. エンター を押します。
5. 属性を反映させるテキストを入力します。

属性はオフにするまで、または新しいエリアに移動するまで有効です。

属性をオフにするには、以下の手順に従います。

1. Font FONTS CAPS を押します。
2. 属性を選び、OFF を選択します。
3. エンター を押します。

入力済みデータ

入力済みテキストに属性を適用するには、以下の手順に従います。

1. Shift SHIFT を押しながら左右のナビゲーションキーでカーソルを動かし、属性を適用したい文字を選択します。
選択部分はハイライトされます。

> **注**：ハイライトは行ごとに行います。一度に 2 行以上ハイライトすることはできません。

2. Font FONTS CAPS を押します。
3. 属性を選び、**ON** を選択します。
4. エンター を押します。

ハイライトされたテキストは属性が適用された状態で表示されます。

> **注**： 文字のハイライトを解除するには、任意のナビゲーションキーを押します。

属性の適用されたテキストから属性を解除するには、以下の手順に従います。

1. Shift SHIFT を押しながら左右のナビゲーションキーでカーソルを動かし、属性を解除したい文字を選択します。
2. Font FONTS CAPS を押します。
3. 属性を選び、**OFF** を選択します。
4. エンター を押します。

テキストの属性が解除されます。

拡大/縮小

データの拡大と縮小は、文字幅と文字間隔に影響を与えます。データは既定の割合に従って拡大、縮小することが可能です。



図 14 : テキストの拡大/縮小

入力時にデータを拡大または縮小したい場合、以下の手順に従います。

1. 拡大または縮小させたい場所にカーソルを移動します。
2. Font FONTS CAPS を押します。
3. Exp/Cond>*percentage* で、割合を選択します。
4. エンター を押します。

拡大/縮小の属性は、100%に戻すか、新しいエリアに移動するまで、データを入力している間適用されます。

既存データを拡大または縮小する場合、以下の手順に従います。

1. Shift SHIFT を押しながら、カーソルを動かして拡大/縮小する文字を選択します。

データがハイライトされます。

2. Font FONTS CAPS を押します。
3. Exp/Cond>*percentage* で、割合を選択します。
4. エンター を押します。

ハイライトされたテキストすべてに属性が適用されます。

上付き/下付き

上付きは文字を行の少し上に置くこと、下付きは少し下に置くことです。上付き/下付き文字は通常の文字より少し小さく表示されます。上付き/下付き機能はテンキーに割り当てられています。上付きキーまたは下付きキーを押すと、その次に入力する文字にそのフォーマットが適用されます。1 文字入力するとすぐにこのフォーマットはオフになり、通常の文字に戻ります。

上付きまたは下付きを適用するには、以下の手順に従います。

1. 行内の上付き文字または下付き文字を置きたい位置にカーソルを移動します。
2. Super FN + SUP Q または、 Sub FN + SUB W を押します。
3. 上付き/下付きにしたい文字を入力します。

上付き/下付きキーを押したあとに直接入力した文字のみが上付き/下付きで表示されます。

複数文字

複数の文字を上付きまたは下付きにしたい場合、以下の手順に従います。

1. 上付き/下付きにしたいテキストを入力します。
2. Shift SHIFT を押しながら、上付き/下付きにする文字をカーソルで選択します。

テキストはハイライトされます。

3. Super FN + SUP Q または、Sub FN + SUB W を押します。

ハイライトされたテキストが上付きまたは下付きになります。

4. ハイライトを解除するには、任意のナビゲーションキーを押します。

記号

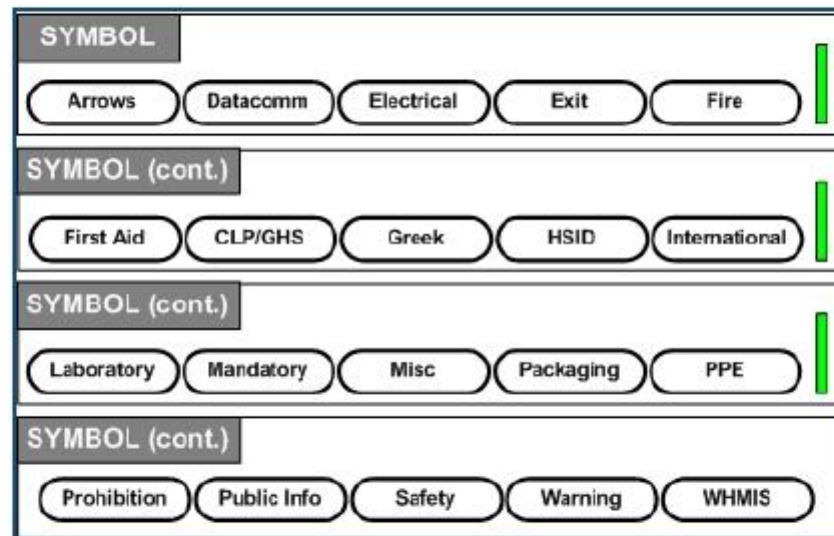


図 15：記号のカテゴリ

BMP®41 ラベルプリンターには、幅広い用途に使用できる記号（グラフィック）が数百種類用意されています。ラベルに記号を入れるには、以下の手順に従います。

1. 記号を入れたい位置にカーソルを移動します。
2. Symbol SYMBOL を押します。
3. 目的の記号のカテゴリに移動します。

注：記号を追加すると、プリンターは最後に使った記号カテゴリに戻ります。

---

4. エンター を押して記号のカテゴリを選択します。
5. ナビゲーションキーを使用して目的の記号を選択します。
6. エンター を押します。

記号は現状のフォントサイズと同じサイズで表示されます。

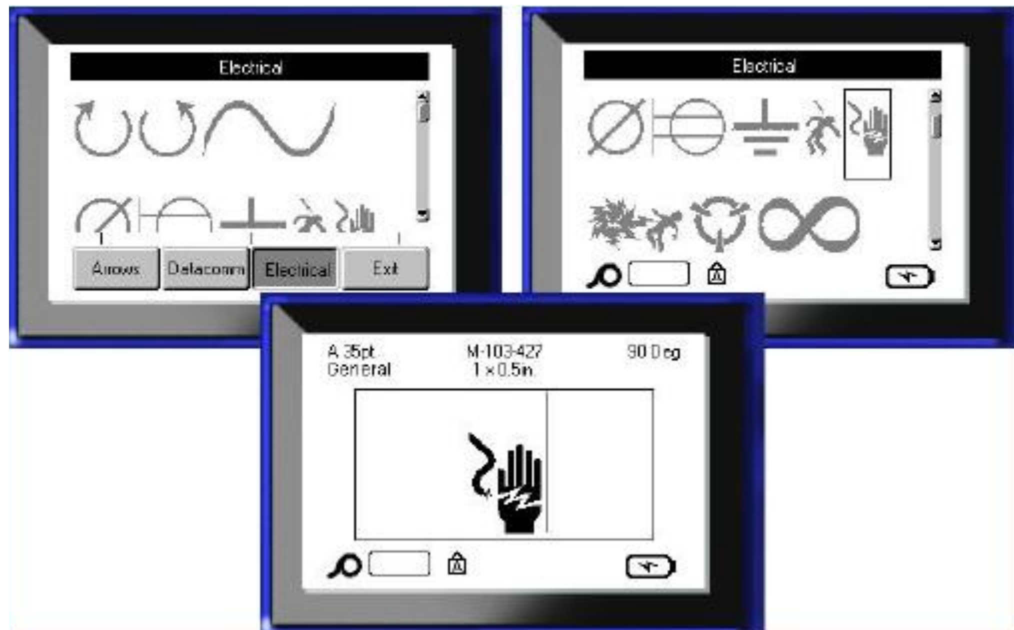


図 16：記号の選択

記号の削除

記号は他の文字と同じです。記号を削除するには、以下の手順に従います。

1. 記号の右隣にカーソルを移動します。
2. バックスペース ← CLEAR を押します。

日付と時刻

各ラベルに現在の日付や時刻を挿入するには、以下の手順に従います。

1. 日付や時刻を挿入したいラベルにカーソルを移動します。
2. 日付を挿入するには、Insert Date FN + 2 INSERT DATE を押します。
3. 時刻を挿入するには、Insert Time FN + 1 INSERT TIME を押します。

BMP®41 ラベルプリンターはその時のシステムクロックの値を基に、印刷時点での日付と時刻を、セットアップ機能で規定した日付と時刻の表示形式で挿入します（詳細については、30 ページの Time/Date 設定を参照してください）。

ラベルとエリア

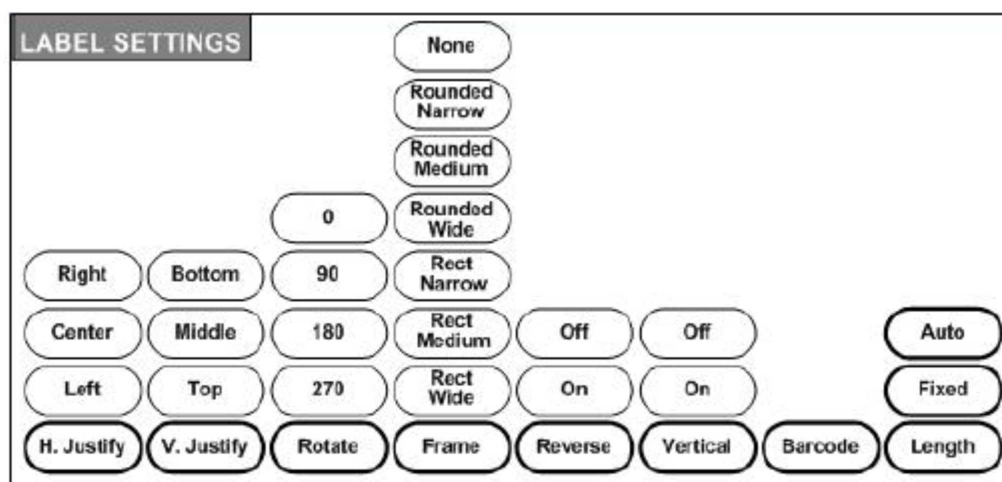


図 17 : Label Settings のメニューオプション

ラベルの設定は、一部の例外を除いて、個々のデータごとではなくラベル全体に適用されます。

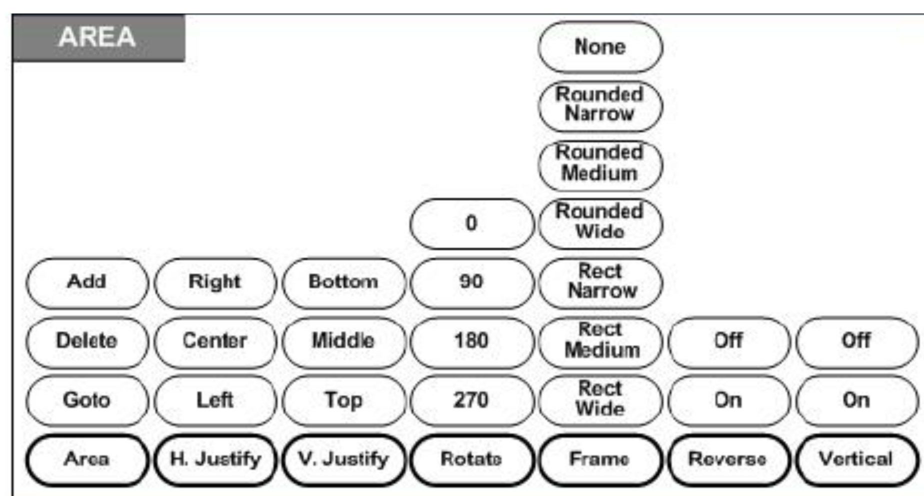


図 18 : Area のメニューオプション

エリアは、1 つのラベル内のさまざまな部分で複数の異なるフォーマット（ジャスティフィケーション、回転、フレームなど）を適用したい場合に使用します。エリアは自動長さ調整モードが設定された連続メディアにのみ設定できます。ただし、エリアのフォーマット設定はあらかじめエリアが定義されたダイカットラベルに適用できます。

編集画面には編集中のエリアのみ表示されます。ラベル内のエリアをすべて表示するには、プリントプレビュー機能（80 ページを参照してください）を使います。

固定長

連続メディアを使用する場合、ラベルの長さはラベルに適用されるフォントサイズと属性に適合する長さになります。ただし、メディアの長さを固定長にすることもできます。連続メディアに固定長を設定するには、以下の手順に従います。

1. Label Settings SETTINGS SERIAL を押します。
2. **Length>Fixed** に移動します。
3. ポップアップフィールドに目的の固定長を入力します。
4. エンター を押します。

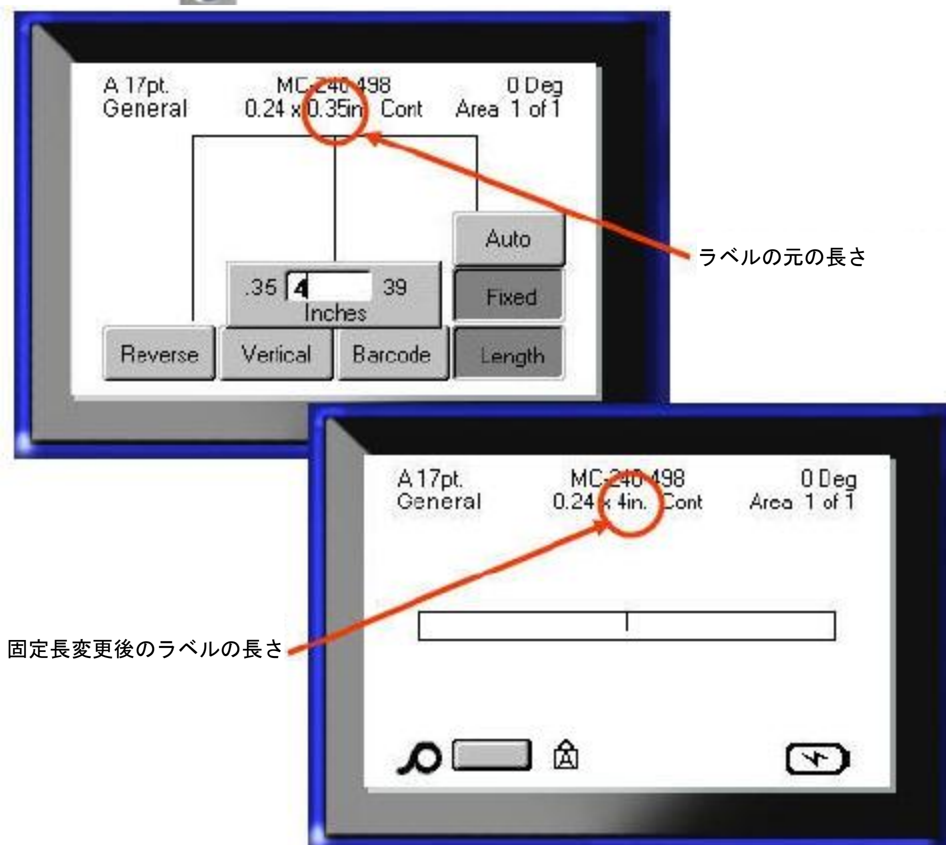


図 19：固定長の追加

エリアの追加

ラベルにエリアを追加するには、以下の手順に従います。

1. Area を押します。
2. **Add** を選択します。
3. エンター を押します。

既存のエリアの最後に新規エリアが追加され、表示画面の右上に反映されます。前のエリアの 1 行目に使用されているフォントサイズが新規エリアにも引き継がれます。

エリアの移動

エリアが複数あるラベルで、別のエリアに移動するには、以下の手順に従います。

1. Area を押します。
2. **GoTo** を選択し、移動先のラベルまたはエリアの番号を入力します。
3. エンター を押します。

ショートカット

エリアの複数あるラベルで次のエリアに移動するには、次の操作を行います。

1. Next Area FN + NEXT AREA AREA を押します。

エリアが複数あるラベルで前のエリアに移動するには、次の操作を行います。

2. Previous Area FN + PREV AREA ⓘ を押します。

エリアの削除

エリアを削除するには、以下の手順に従います。

1. 削除したいエリアに移動します。
2. Area [NEXT AREA / AREA] を押します。
3. Delete を選択します。

削除の確認のメッセージが表示されます。



エリアを削除する場合は、次の操作を行います。

4. エンター を押します。

削除機能をキャンセルし、ラベルから特定のエリアを削除しない場合は、次の操作を行います。

5. バックスペース [← CLEAR] を押します。

ジャスティフィケーション

ジャスティフィケーションとは、ラベル上やエリア内の境界間でデータの位置を調整することです。
ジャスティフィケーションには水平と垂直の 2 種類があります。水平ジャスティフィケーション（H. Justify）はラベルやエリアの左右の境界間で位置を揃え、垂直ジャスティフィケーション（V. Justify）はラベルやエリアの上下の境界間で位置を揃えることです。ジャスティフィケーションはエリアまたはラベルに適用されます。行ごとに適用することはできません。

ジャスティフィケーションを適用するには、以下の手順に従います。

1. ジャスティフィケーションを適用するラベルまたはエリアに移動します。

2. ラベルにジャスティフィケーションを適用する場合は、
Label Settings SETTINGS SERIAL を押します。

または、
エリアにジャスティフィケーションを適用する場合は、Area NEXT AREA AREA を押します。

3. **H. Justify** または **V. Justify** のどちらかを選択します。

4. 目的に応じて水平、または垂直ジャスティフィケーションを選択します。

5. エンター を押します。

オプションの選択に従って、ラベル上またはエリア内の行のデータそれぞれにジャスティフィケーションが適用されます。ラベル上の別のエリアには異なるジャスティフィケーションを適用できます。

回転

回転とはラベル上のデータを反時計回りに 90° ずつ動かすことです。
ラベル上のデータすべてが回転します。

123	123	123	123
0°	90°	180°	270°

図 20 : 印刷ラベルの回転角度

注 : エリアに個別に回転を適用した場合、ラベル全体を回転させることはできなくなります。

データは行ごとに回転することはできません。新規エリアを追加すると、前のエリアと同じ回転が適用されます。

データを回転させるには、以下の手順に従います。

1. 回転させるラベルまたはエリアに移動します。
2. ラベルを回転させる場合は、Label Settings SETTINGS SERIAL を押します。

   または
   エリアを回転させる場合は、Area NEXT AREA AREA を押します。
3. Rotate>*degree of rotation* で回転角度を選択します。
4. エンター を押します。

注：自動フォントサイズ調整を選択している場合、回転したデータはラベルの高さと幅に合うように自動調整されます。ただし、固定サイズを選択している場合は、回転したデータがラベルの大きさに合わない場合があります。その場合は回転したデータが合わないというエラーメッセージが表示されます。回転はキャンセルされ、データは回転しません。



エラーメッセージを消去するには、次の操作を行います。

1. バックスペース　を押します。

回転機能がキャンセルされ、データは回転しません。

フレーム（連続ラベル使用時のみ）

フレームはエリアまたはラベルに追加できますが、テキスト行にはできません。複数エリアのラベルでは、個々のエリアに異なるフレームを付けたり、付けなかったりすることができます。エリアフレームを含むラベルにもフレームを付けられます。

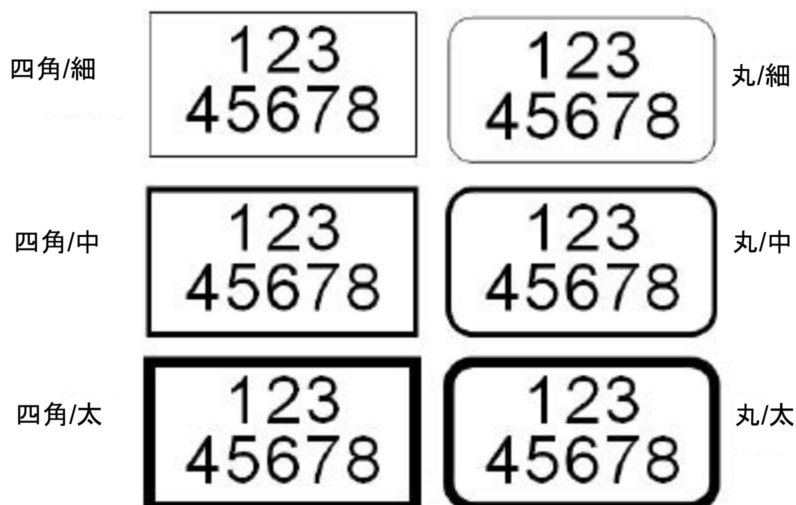


図 21：使用可能なフレームオプション

1. ラベルにフレームを付ける場合は、Label Settings SETTINGS SERIAL を押します。

   またはエリアにフレームを付ける場合は、Area NEXT AREA AREA を押します。
2. Frame>*frame type* でフレームの種類を選択します。
3. エンター を押します。

フレームは編集画面には表示されません。ラベルやエリアのフレームはプリントプレビュー（80 ページを参照してください）で確認します。

フレームを削除するには、以下の手順に従います。

1. フレームを持つラベルかエリアに移動します。
2. Label Settings SETTINGS SERIAL を押します。

   または Area NEXT AREA AREA を押します。
3. Frame>None を選択します。
4. エンター を押します。

反転

反転機能は取り付けたメディアをベースに、データの前景色と背景色を逆転させるものです。



図 22：テキストの反転

例えば、黄色の背景に黒い文字の場合反転させると黒の背景に黄色の文字になります。

エリアにもラベルにも反転を適用することができますが、行ごとやバーコードに適用することはできません。

ラベルやエリアに反転を適用するには、以下の手順に従います。

1. Label Settings を押します。

   または Area を押します。

2. **Reverse>ON** を選択します。
3. エンター を押します。

システムにより端から端までフォーマットされ、前景と背景の色を逆転させます。

反転を解除するには、以下の手順に従います。

1. 反転状態のラベルまたはエリアに移動します。
2. Label Settings を押します。

   または Area を押します。

3. **Reverse>OFF** を選択します。
4. エンター を押します。

縦書きテキスト

縦書きテキストでは、文字が前の文字の下に並ぶようになります。

例 : “WIRE” という単語を縦書きにすると次のようになります。

W
I
R
E

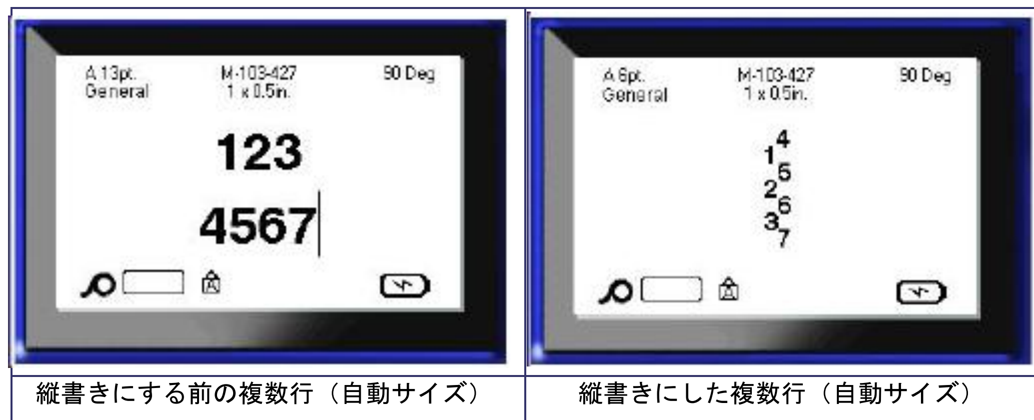
縦書きテキストはエリアまたはラベルにのみ適用できます。1 行ごとの適用はできません。

テキストを縦書きにするには、以下の手順に従います。

1. テキストを縦書きに表示したいラベルまたはエリアに移動します。
2. Label Settings を押します。

   または Area を押します。
3. **Vertical>On** を選択します。
4. エンター を押します。

ラベルまたはエリアで、テキストが縦に表示されるようになります。
2 行以上ある場合、2 行目以降は最初のテキスト行の右側に縦で表示されます。



縦書きにする前の複数行（自動サイズ）	縦書きにした複数行（自動サイズ）

図23：複数行の縦書き調整

縦書きにするテキスト行にバーコードが含まれる場合、またラベルの高さが縦書きにするのに足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。



図 24：縦書きテキスト適用時のエラーメッセージ

エラーメッセージを解除した後は、テキストは元の形式で表示され、縦書きオプションは適用されません。

1. 表示されているデータが縦書きテキストになっているラベルまたはエリアに移動します。
2. Label Settings を押します。

   または Area を押します。
3. **Vertical>OFF** を選択します。
4. エンター を押します。

テキストは既定のフォーマットに戻ります。

バーコード

バーコードデータは他のデータ（テキストまたは記号）と同じ行に表示されます。バーコード用にエリアを分ける必要はありません。テキストと同じ行にあるバーコードデータはその行にすでにあるテキストには重ならず、その隣に配置されます。

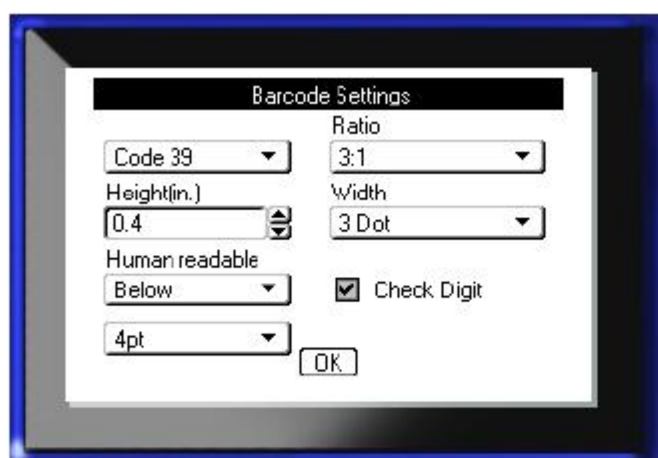
バーコードの設定

フィールド	使い方
Barcode Symbology	BMP®41 ラベルプリンターは Code 128 と Code 39 のバーコードをサポートしています。
Ratio	使用できる比率は 2 : 1 または 3 : 1 です。
Height	バーコードのバーの高さは最小 0.1 インチ（2.54 mm）から最大 1.2 インチ（30.48 mm）の範囲で変更できます。
Width	バーコードの細いバーの幅は 1、2、3 ドットです。
Human Readable	バーコードの上か下に目視可能文字を置くことができます。表示しない設定も可能です。
Check Digit	チェックディジットは Code 39 バーコード使用時にエラー検出に使います。オンかオフを選択できます。

バーコード設定のいずれかを変更するには、以下の手順に従います。

1. Label Settings SETTINGS SERIAL を押します。
2. Barcode のメインメニューに移動します。
3. エンター を押します。

ダイアログボックスが表示されます。



4. ナビゲーションキーで変更したいさまざまなフィールドにアクセスします（ダイアログボックスの操作についての詳細は、23 ページを参照してください）。

終了したら、以下の手順に従ってすべての変更を確定します。

5. OK に移動して を押します。

6. バックスペース を押して Label Settings メニューを終了します。

バーコードの追加

バーコードキーはバーコードとテキストの切り替えキーです。1 回押すとオンになり、もう 1 回押すとオフになります。

バーコードを追加するには、以下の手順に従います。

1. バーコードを追加したい場所にカーソルを移動します。

2. Barcode を押します。

バーコードは、ラベル設定機能の Barcode メインメニューで決めたバーコードパラメータに従って、開始文字や停止文字を表示します。

3. バーコードデータを入力します。

データを入力すると画面にバーコードが表示されます。Human Readable オプションがオフの場合（“None”が選択されている状態)、データ入力ボックスがバーコードの上に直接表示され、入力データを表示しながら編集できます。この入力ボックス内のデータは印刷されません。バーコードの表す実際の数字を印刷したい場合は、Barcode メインメニューの Human Readable フィールドで Below または Above を選択します。

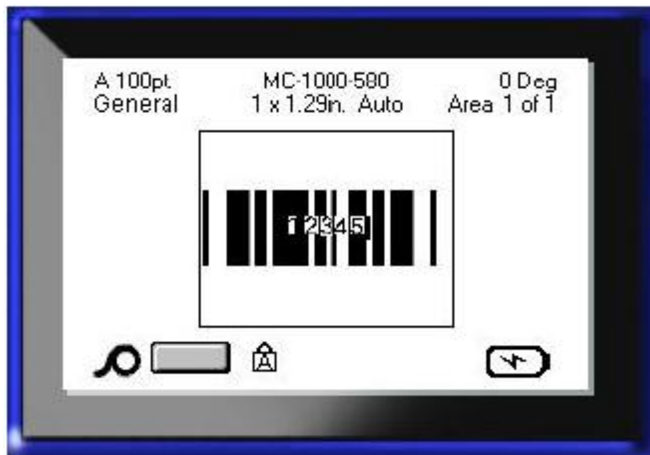


図 25 : HR オプションオフ時の印刷されないバーコードのテキストボックス

バーコード入力が完了し、同じテキスト行にデータをさらに入力したい場合は、以下の手順に従います。

4. Barcode をもう一度押します。

バーコードモードがオフになり、テキストモードに戻ります。

または、
バーコード入力が完了し、入力したバーコード行の下に新しいテキスト行を開始したい場合は、

5. エンター を押します。

OK を押すとカーソルは次の行に移り、バーコード機能は自動でオフになります。

バーコードデータの編集

バーコードデータを編集するには、以下の手順に従います。

1. バーコードテキストの中にカーソルを移動します。

バーコードモードが自動でオンになります。

2. バーコードテキストを編集します。

バーコードモードはバーコードの最後の文字を通過すると自動でオフになります。

シリアル化

シリアル化（または順序付け）とは、一続きの数字または文字を印刷されるラベルに自動で追加することです。シリアル機能はラベル 1 枚 1 枚に次の数字または文字を決められた順序で連続して付けていくものです。
作成されるラベルの番号はユーザーの入力したシーケンス値によって決められます。プリントプレビュー機能で印刷前にシリアル化されたラベルを確認することができます（詳細は 80 ページの「プリントプレビュー」を参照してください）。

シリアル化はラベルの別のデータと組み合わせることができます。シリアル化を含むラベルに表示されたデータはシリアルデータと一緒にすべてのラベルに繰り返されます。

シリアル化の仕組み

シリアル化は英数字で、数字は 0 から 9 まで、英字は A から Z までです。シリアル化にはシンプルとリンクがあり、ラベルごとに最大で 2 個のシーケンスを付けられます。

注：シリアル化したデータをバーコードに組み込むこともできます。

シリアル化の構成要素は Start Value、End Value、それに Increment です。Start Value はシリアル化シーケンスを開始する数字、文字または英数字の組み合わせです。End Value はシーケンスの終点となる英数字です。

Increment とは、シーケンスの前の数字に足す値で、次のシーケンスナンバーを生成するものです（Increment の値を 0 にすることはできません）。例えば、開始値が 1、終了値が 25 で、Increment が 4 の場合、1、5、9、13、17、21、25 となります。

シリアル化の例

シンプルなシリアル化の場合、シーケンスは数字または英字の最初から最後まで（0 から 9、A から Z）続き、1 つのラベルに 1 英数字が使われます。

例：　シンプルなシリアル化

Sequence #1
Start Value：　1
End Value：　10
Increment：　1
生成値：　1、2、3、4、5、6、7、8、9、10

単一のシリアル化に文字や数字を組み合わせることもできます。Start Value の右端の文字が最大値（9、Z）に到達すると、その左隣の文字が増加し、右の文字は最小値（0、A）に戻ります。

例：　組み合わせ、単一シリアル化

Sequence #1
Start Value：　A1
End Value：　D4
Increment：　1
生成値：　A1…A9、B0...B9、C0...C9、D0...D4

複数シーケンスのシリアル化では、2 番目の値のセットが最初の値のセットに依存しない（Linked ボックスにチェックしない）場合、2 つのシーケンスが順に独立して増えていきます。

例：　複数シリアル化（2 番目の値のセットが最初の値のセットに依存しない）

Sequence #1		Sequence #2	
Start Value：	1	Start Value：	A
End Value：	10	End Value：	C
Increment：	1	Increment：	1

生成値：　1A、2B、3C、4A、5B、6C、7A、8B、9C、10A

複数のシーケンスが「リンクした」シリアル化（Linked ボックスにチェック）では、2 番目の値のセットは最初の値のセットに依存します。2 番目のシーケンスは最初のシーケンスが終わるまで変化せず、終了してから次の値に変化します。

リンクした複数シリアル化

Sequence #1		Sequence #2	
Start Value：	1	Start Value：	A
End Value：	10	End Value：	C
Increment：	1	Increment：	1
生成値：	1A..10A、1B..10B、1C..10C		

シーケンスの番号

1 桁の数字はゼロ（0）を使って「充填」をすることができ、それを表示することもできます。
ゼロを表示するには、1 桁の数字の前にゼロを入力します（例：01、02、03...）。ゼロを入力しないと、仮想の 0 がスペースを取り、数字/文字がより適切に並ぶようにします。

001
002
....
010
011
....
111
112

Padded, displaying 0's

1
2
....
10
11
....
111
112

Padded, virtual 0's

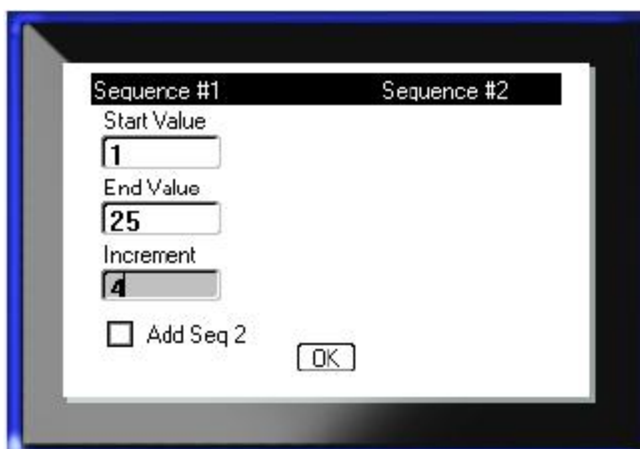
図 26：シーケンスのゼロ表示と仮想のゼロ

シリアル化の追加

ラベルにシリアル化を追加するには、以下の手順に従います。

1. シリアル化を表示したいラベルにカーソルを移動します。
2. Serial FN + SETTINGS SERIAL を押します。

ダイアログボックスが開くので、シリアル化の開始値、終了値、増分値を入力します。



シンプルなシリアル化

3. カーソルを Sequence #1 の *Start Value* フィールドに置き、シーケンスの開始値を入力します。

開始値が終了値より大きい場合、値は自動で減少になります。

4. End Value のフィールドで、シーケンスの終了値を入力します。

5. Increment のフィールドで、増分値を入力します。

デフォルトの増分値は 1 です。1 でよい場合は、何も入力しないで構いません。

6. OK に移動し、エンター を押します。

複数シリアル化の場合は、以下の手順に従います。

7. 上記 1～6 の手順を行います。

8. 編集画面で、ラベル上の次のシーケンスの位置（カーソル位置）に移動します。

注：組み合わせのシリアル化を作成してラベルの同じカーソル位置に表示する場合は、1～5 の手順の後、下記の手順 10 に進みます。

9. Serial FN + SETTINGS SERIAL を押します。

表示されるダイアログボックスに、最初のシリアル化の値が表示されます。

10. Add Seq 2 オプションボックスに移動し、エンター を押します。

Sequence #1	Sequence #2
Start Value: 1	Start Value:
End Value: 25	End Value:
Increment: 4	Increment: 1
☑ Add Seq 2	☐ Linked

OK

2 番目のシーケンス値のフィールドが表示されます。

11. Sequence #2 の Start Value フィールドで、シーケンスの開始値を入力します。

12. Sequence #2 の End Value フィールドで、シーケンスの終了値を入力します。

13. Sequence #2 の Increment フィールドで、シーケンスの増分値を入力します。

リンクしたシリアル化の場合は、以下の手順に従います。

注：リンクしたシリアル化はラベルの同じ位置に表示する必要はありません。ラベル内の別の場所に置くことができます。

14. Linked オプションボックスに移動し、エンター を押します。

15. 終了したら、OK に移動し、エンター を押します。

シーケンスの編集

シーケンスを決定した後でも、シリアル化の値を変更することができます。シーケンスの値を編集するには、以下の手順に従います。

1. Serial FN + SETTINGS SERIAL を押します。

Serial ダイアログボックスが開き、現在の値が表示されます。

2. 変更する値フィールドに移動し、新しい値を入力します。

3. OK に移動し、エンター を押します。

ファイル管理

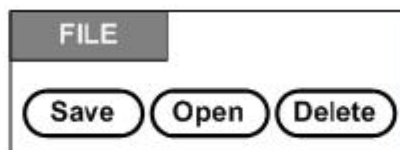


図 27 : File メニューオプション

ラベルはファイルとして保存し、後で開いて再度使用することができます。

ファイルの命名規則

BMP®41 ラベルプリンターでファイルを作る場合には、必ずファイル名を付けなければなりません。名前は最長 20 文字で、文字、数字、スペースが使えます。

ファイル作成の際には、同じ名前のファイルを 2 つ以上作れない、という規則にご注意ください。同じ名前にすると、古いファイルは同じ名前の新しいファイルに上書きされます。名前が 1 文字でも違えば違うファイルとみなされ、古いファイルは上書きされません。

保存

ファイルは BMP®41 ラベルプリンター内部、または外部デバイス（サムドライブなど）に保存できます。保存したファイルにはラベルデータ、データ属性、配置のパラメータが保存されます。ファイルはいつでも再使用できます。

ラベルをファイルとして保存するには、以下の手順に従います。

1. File FN + LABEL TYPE FILE を押します。
2. Save を選択し、エンター を押します。

内部（BMP®41 ラベルプリンター）に保存する場合は、手順 9 に進んでください。

外部に保存する場合は、サムドライブを正しいポートに接続してください。
外部ドライブがある場合、次の画面が表示されます。



外部（サムドライブ）に保存する場合は、以下の手順に従います。

3. External オプションボックスに移動します。

4. エンター を押します。

ファイルを保存するには、手順 9 に進んでください。

ファイルを探しやすいようにディレクトリ構造を作る場合は、フォルダにファイルを格納します。フォルダを作るには、以下の手順に従います。

5. <New Folder> に移動し、エンター を押します。
6. 表示されるフィールドにフォルダ名を入力し、エンター を押します。



フォルダが自動で開きます。この開いたフォルダにファイルを保存する場合は手順 9 に進みます。開いているフォルダとは別のフォルダにラベルファイルを保存するには、以下の手順に従います。

7. Previous folder に移動し、エンター を押します。
8. 目的のフォルダに移動し、エンター を押します。
9. <New File>エントリボックスで、ラベルファイル名を入力し、エンター を押します。



ファイル名がすでに存在する場合は、同じ名前の古いファイルを上書きするかどうか尋ねるメッセージが表示されます。



10. 上書きする場合は、エンター を押します。
    または、画面からメッセージを消去してファイル名のエントリボックスに戻るには、次の操作を行います。
    バックスペース CLEAR を押します。

11. ファイル名を変えて入力し、手順 9 をやり直します。

画面からファイルを削除

ファイルを保存すると、編集画面に戻り、保存したファイルがそのまま表示されます。
保存したファイルを画面から消去するには、以下の手順に従います。

1. Clear FN + ← CLEAR を押します。
2. Clear All を選択し、エンター を押します。

画面からラベルをすべて消去するかどうかの確認メッセージが表示されます。



3. エンター を押すと画面からラベルが削除されます。
   または、エラーメッセージを消去して Clear All 機能をキャンセルするには、次の操作を行います。
   バックスペース ← CLEAR を押します。

ファイルを開く

保存したファイルを開く（呼び出す）には、

1. File FN + LABEL TYPE FILE を押します。
2. Open を選択し、エンター を押します。
3. 開きたいファイルが BMP®41 ラベルプリンターの内部にあるか、外部のサムドライブにあるかを指定します。

注：開きたいファイルが外部に保存されている場合は、目的のファイルのリストを取得できるように、サムドライブを必ず正しいポートに接続してください。

---

4. エンター を押します。

以前に保存したファイルとフォルダのリストが表示されます。ファイルがフォルダに保存されている場合は、以下の手順に従います。

5. 開きたいフォルダに移動し、エンター を押します。
6. 次に、開くファイルに移動し、エンター を押します。

画面に表示できるファイルは一度に 1 つだけです。保存したファイルを開く場合、編集画面に別のデータがある場合は、画面を消去する前にそのデータを保存するようメッセージが表示されます。表示中のデータを保存する場合は、保存機能が呼び出され、データにファイル名を付けることができ、エディタに改めて開きたいファイルが表示されます。

ファイルを開く際、保存されたデータが取り付けられているメディアに適合しない場合、エラーメッセージが表示されます。



開くファイルに保存されたデータに合ったラベルメディアを使わなければなりません。ダイカットメディアで保存されたデータを連続メディアで、または連続メディアで保存されたデータをダイカットメディアで使うことはできません。

7. エンター を押してエラーメッセージを消去し、データに合ったメディアを取り付けし直してください。

ファイルの削除

ファイルを削除する前に表示画面を消去する必要はありません。ファイルは画面上に他のデータがある状態でも削除できます。

以前に保存したファイルを削除するには、以下の手順に従います。

1. File FN + LABEL TYPE FILE を押します。
2. Delete を選択し、エンター を押します。
3. 表示されるダイアログボックスで、削除するファイルが BMP®41 ラベルプリンターの内部にあるか、サムドライブやコンピュータなどの外部ストレージにあるか、ナビゲーションキーで指定します。

注：削除するファイルが外部に保存されている場合は、目的のファイルリストが取得できるように、確実に外部ストレージを接続してください。

4. エンター を押します。

以前保存したファイルのリストが表示されます。

5. ナビゲーションキーで、削除するファイルを選択します。
6. エンター を押します。

削除の確認のメッセージが表示されます。



7. エンター を押して削除を確定します。

   または、削除をキャンセルします。それには、次の操作を行います。
   バックスペース CLEAR を押します。

ファイルを削除すると、システムから削除され、これ以降使えなくなります。

空白ページ

印刷

印刷機能は現在のファイルを印刷する機能です。
印刷するには、次の操作を行います。

1. Print を押します。

データが印刷されます。

印刷した後、ラベルをカットするには、次の操作を行います。

2. カッターレバーを最後まで押し下げます。

ラベル出口にはローラーが付いているため、切断後にラベルが落ちません。
ラベルを取り出すには、次の操作を行います。

3. ローラーからラベルをゆっくり引きます。

BMP®41 ラベルプリンターの印刷はバックグラウンドで行われますので、ファイルを印刷中でも新しいラベルの編集や作成ができます。

印刷ジョブのキャンセル

メディアを使い切るなどして印刷ジョブが中断した場合や、意図的にカバーを開けた場合などには、システムは自動で印刷ジョブを停止し、メッセージを表示します。
メッセージが画面上にある間は、画面の指示に従って印刷を再開してください。

意図的に印刷ジョブを中断するには、次の操作を行います。

1. Shift+FN+Print SHIFT + FN + MULTI PRINT を押します。

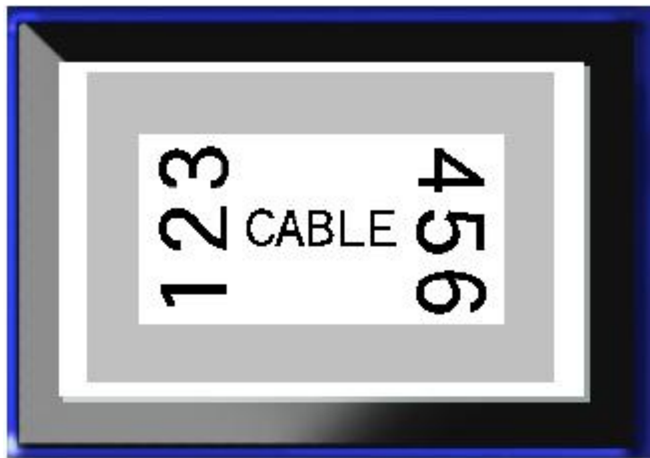
プリントプレビュー

BMP®41 ラベルプリンターのプリントプレビュー機能は、印刷前にラベルファイルを 確認できる機能です。

ラベルのプレビューを行うには、次の操作を行います。

1. プリントプレビュー PREVIEW SETUP を押します。

印刷される状態のラベルが表示されます。



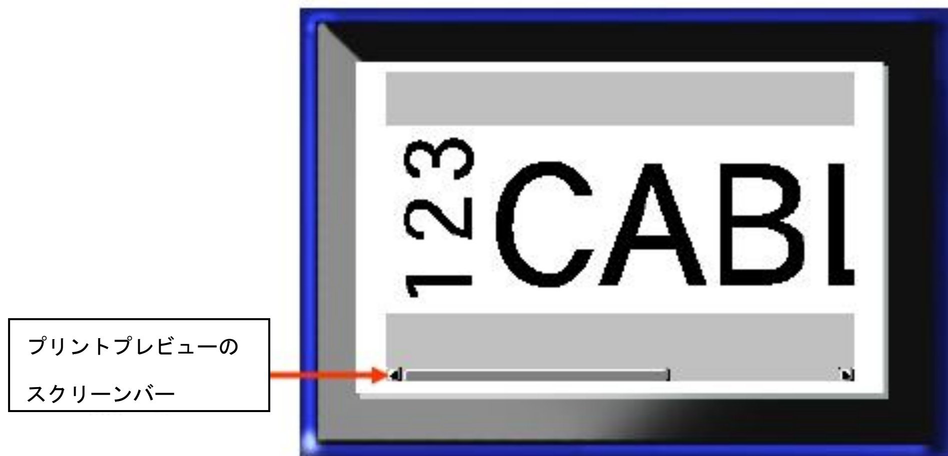
プリントプレビューを終了して編集画面に戻るには、次の操作を行います。

1. バックスペース ← CLEAR を押します。

編集画面に戻ります。

プリントプレビューでのスクロール

ラベルファイルが長すぎて、プリントプレビューで 1 画面に表示しきれない場合があります。その場合スクロールバーが表示され、データがさらにあることが示されます。



長いラベルのプレビューでスクロールするには、次の操作を行います。

1. 適宜左右のナビゲーションキーを押します。

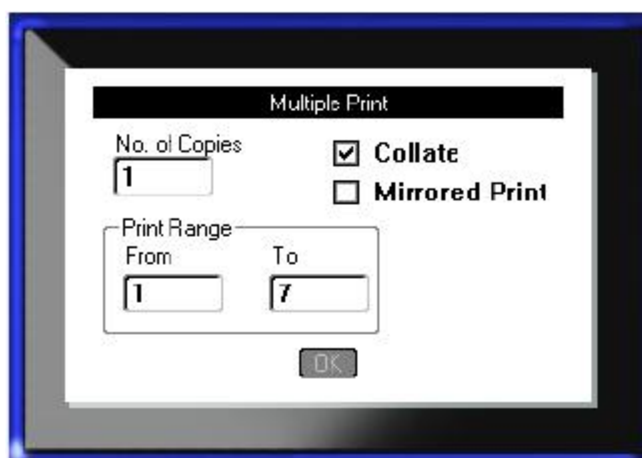
マルチエリアプレビューでのスクロール

シリアル化を使用する場合、エリアが複数作成されます。プリントプレビューで別のラベルにスクロールするには、次の操作を行います。

1. 適宜上下のナビゲーションキーを押します。

マルチプリント

Multi-Print キーを押すと、ダイアログボックスで次のオプションが表示されます。



マルチプリントとは、ラベルを複数枚、またはマルチラベル（連続）ファイルの一定範囲のラベルを印刷する機能です。複数枚印刷する場合は、ページ順に揃えるかどうかも指定できます。

注：使用中のメディアやラベルタイプによって、マルチプリントダイアログボックスには区切り（目盛りまたは線）を定義するオプションも表示されます。目盛りと線の区切りについては、91 ページの図 35 を参照してください。

順序揃え

順序揃えとは、複数枚印刷する場合や複数セットのラベルを印刷する場合に、一連のラベルの並べ方を決めるものです。

揃える（Collated）—続き番号ですべて印刷した後、最初に戻ってまたすべての続き番号を印刷します。

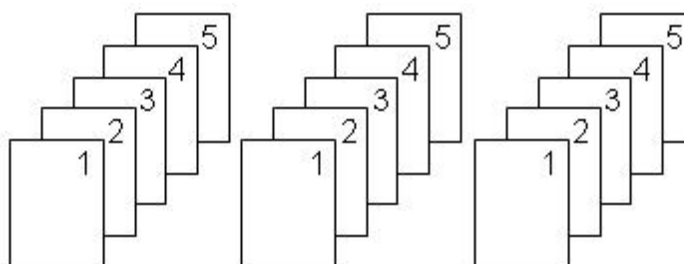


図 28：5 枚のラベルの順序を揃えて 3 組印刷した場合

揃えない（Non-collated）—シーケンスの最初の番号をすべて印刷した後、2 番目すべて、3 番目すべてと続けて印刷します。

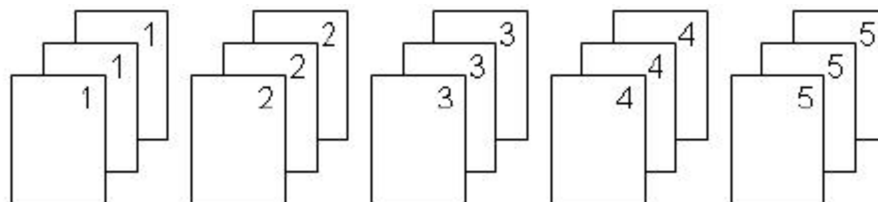


図 29：5 枚のラベルを 3 組、揃えずに印刷した場合

複数枚印刷するには、以下の手順に従います。

1. Multi-Print FN + MULTI PRINT を押します。
2. カーソルを *No. of Copies* フィールドに置き、必要な印刷枚数を入力します。

印刷のページを揃えるかどうか決めます。デフォルトでは揃えて印刷されます。印刷を揃えたくない場合は、次の操作を行います。

3. Collate オプションボックスに移動し、エンターを押してチェックマークを外します。

一連のラベルを 1 枚印刷（再印刷）する場合、または一連のラベルの任意の範囲を印刷する場合は、印刷範囲機能を使用します。

4. Print Range の *From* フィールドに移動し、印刷する最初のラベル番号を入力します。
5. Print Range の *To* フィールドに移動し、印刷する最後のラベル番号を入力します。

ミラープリント

ミラープリントでは、ラベル上のすべてのデータを反転して鏡に映った状態のイメージにします。
ミラーリングはラベルを印刷した時にだけ表示されます。

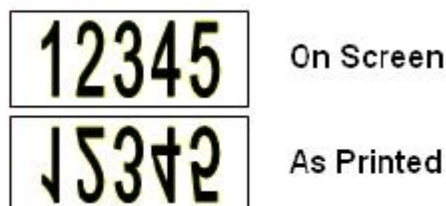


図 30 : ミラーイメージ

ミラープリントはラベルごとで、ラベルのすべてのデータがミラーリングされます。
個々のエリアのミラーデータを作ることはできません。

ラベル内容のミラーイメージを得るには、Multi-Print ダイアログボックスで、以下の手順に従います。

1. *Mirrored Print* オプションボックスに移動し、エンター を押してフィールドにチェックマークを入れます。
2. 必要なオプションを指定したら、OK に移動してエンター を押します。

ラベルタイプ

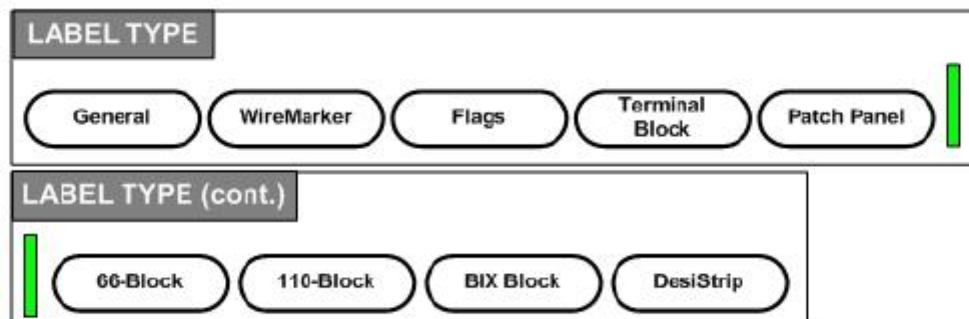


図 31：Label Type メニューオプション

BMP®41 ラベルプリンターの一般的な編集モードには、ほとんどの汎用ラベルで使われる標準機能やフォーマットが用意されています。ただし、ラベルタイプでは、特定のラベルフォーマットのレイアウトを調整するためのテンプレートを用意しています。

Label Type にアクセス

ラベルタイプを利用するには、以下の手順に従います。

1. Label Type LABEL TYPE FILE を押します。
2. 使いたい Label Type を選択します。
3. エンター を押します。

ほとんどのラベルタイプでは、ダイアログボックスが表示され、特定のラベルタイプを自動的にフォーマットするための情報が収集されます。

4. ダイアログボックスで求められたデータを入力します。
5. 完了したら、OK に移動して エンター を押します。

ラベルタイプのテンプレートが起動します。使用される特定のラベルタイプ名がステータスバーの左側、フォントサイズの下に表示されます。

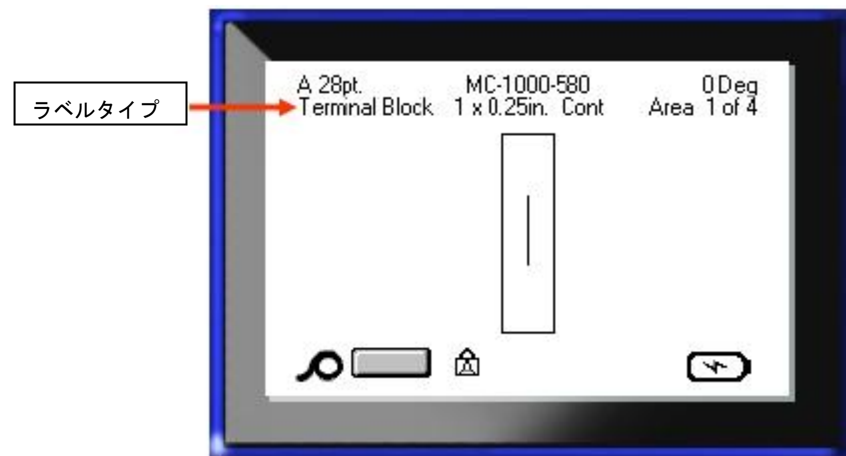


図 32：ステータスバーでのラベルタイプ表示

General ラベルタイプ

特定のラベルタイプを使用中は、データを消去すると入力したデータは削除されますが、その特定のラベルタイプのパラメータは残ります。特定ラベルタイプを終了して BMP®41 ラベルプリンターの通常の編集モードに戻るには、General ラベルタイプを選択します。

1. Label Type LABEL TYPE FILE を押します。
2. **General** を選択します。
3. エンター を押します。

使っていたラベルタイプが画面から削除され、通常の編集モードに戻ります。

WireMarker

WireMarker ラベルタイプは入力したテキストをラベルの長さのいちばん下まで繰り返していくものです。データはフォントサイズとラベル上で取れるテキストの行数に合わせて、いちばん下に到達するまで繰り返されます。

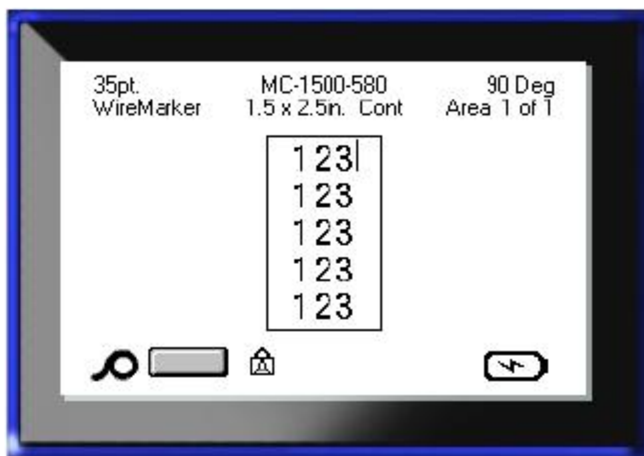


図 33 : WireMarker ラベルでの繰り返しデータ

WireMarker ラベルにはダイカット、セルフラミネートまたは連続メディアが利用できます。
WireMarker ラベルタイプを使用するには、以下の手順に従います。

1. Label Type LABEL TYPE FILE を押します。
2. 連続メディアの場合は、**WireMarker>*wiremarker size*** でサイズを選択します。
   または、
   ダイカットメディアの場合は、**WireMarker** を選択します。
3. エンター を押します。
4. wiremarker データを入力します。

データを入力すると、データがラベルのいちばん下まで繰り返されます。フォントサイズは自動に設定されていますが、変更することもできます（フォントサイズ変更については 40 ページを参照してください）

エンターを押して改行すると、繰り返しデータの各行の下にスペースができ、その行に入力するとそのテキスト行の内容も繰り返し表示されます。

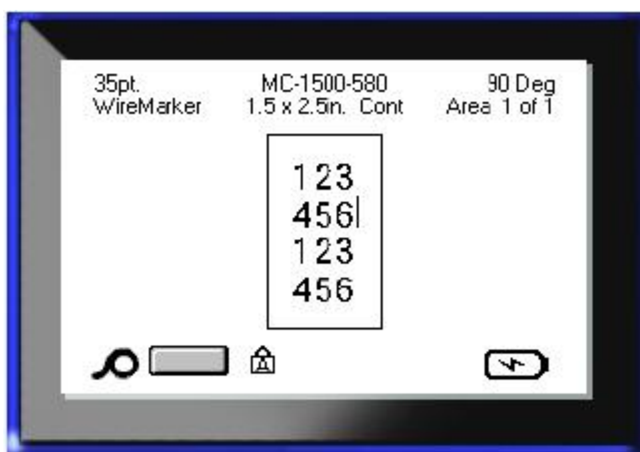


図 34 : 行が複数ある場合の WireMarker ラベル

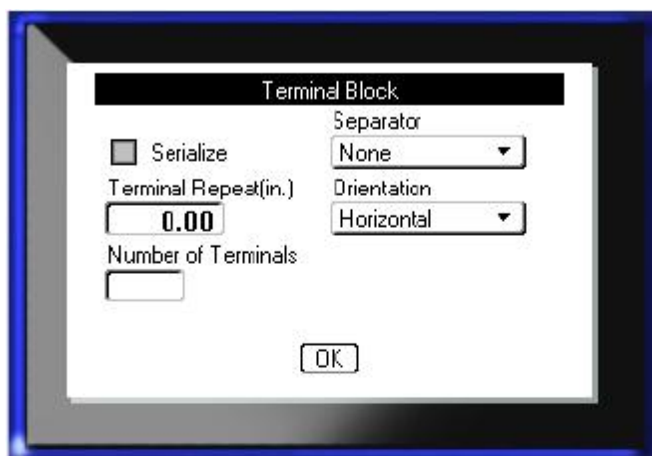
Terminal Block、Patch Panel、66 Block

Terminal Block、Patch Panel、66 Block のラベルタイプは連続メディア用に設定されています。
連続メディアが取り付けられていない場合、メニューにこれらのラベルタイプは表示されません。

Terminal Block、Patch Panel、66 Block のラベルタイプを使用するには、以下の手順に従います。

1. Label Type LABEL TYPE FILE を押します。
2. 使いたいラベルタイプに移動し、エンター を押します。

ダイアログボックスが表示されるので、追加情報を入力します（ダイアログボックスのナビゲーションについては、23 ページを参照してください）。



ターミナルブロックラベルをシリアル化しない場合は、手順 4 に進んでください。

3. Serialize オプションボックスに移動し、エンター を押してオプションを選択します。（ダイアログボックスが開くと Serialize オプションの位置にカーソルがあります）。

4. *Separator* フィールドに移動し、ドロップダウンリストから使用する区切り線を選択します。

5. *Orientation* フィールドに移動し、ドロップダウンリストから配置を選択します。

123 124 125	123 124 125
線区切り、縦方向	目盛り区切り、横方向

図 35：区切り線と方向

6. *Terminal Repeat* フィールドに移動し、ターミナル同士の間隔を指定します（最小値は 0.2 インチ）。

Terminal Block ラベルタイプでシリアル化を行う場合、Number of Terminals を入力する必要はありません。シリアル化の値でラベルの枚数が決まります。手順 8 に進みます。

7. *Number of Terminals* フィールドで、対象ラベルのブロックのターミナル数を入力します。

8. 完了したら、OK に移動してエンター を押します。

Serialize オプションボックスにチェックマークがある場合は、Serial ダイアログボックスが表示されます。

9. シリアル化の値を指定します（詳細は 66 ページの「シリアル化の追加」を参照してください）。

10. 完了したら、OK に移動してエンター を押します。

複数のターミナルブロックがラベル上のエリアとして作成され、各エリアにシリアル化文字が表示されます。シリアル化を使用しない場合は、編集画面でラベルごとに一意のデータを入力し、Next Area または Prev Area を使ってエリアを移動します。

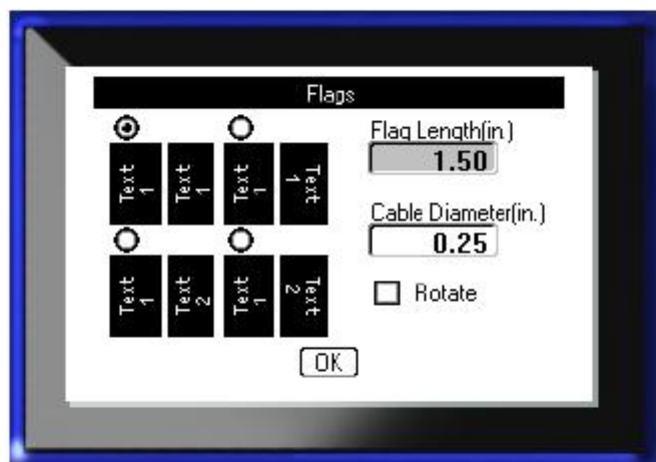
Print Preview で、印刷をする前にマルチエリアラベルの印刷イメージを確認できます（プリントプレビューでのマルチエリアラベルへの移動方法については 80 ページを参照してください）。

Flags

Flag ラベルは、ワイヤーやケーブルに巻き付け端を合わせて、旗のような形状にします。Flag ラベルタイプは連続メディアまたは特定のマルチエリアダイカットラベルで使用するよう設計されています。
Flag ラベルタイプを使用するには、以下の手順に従います。

1. Label Type LABEL TYPE FILE を押します。
2. **Flags** を選択し、エンター を押します。

ダイアログボックスに、ラジオボタンがついた種類の異なるフラッグレイアウトが表示されます。



レイアウトを選択するには、以下の手順に従います。

3. 目的のレイアウトのラジオボタンに移動して、エンター を押します。
4. 連続メディアが取り付けられている場合は、*Flag Length* フィールドに移動し、フラッグの長さ（テキスト部分）を入力します。
5. *Cable Diameter* フィールドに移動し、フラッグを付けるワイヤーやケーブルの直径を入力します。

ケーブル直径の範囲は 0.25～8 インチです。ワイヤーまたはケーブル直径を入力すると、システムにより自動的にラベルに必要な追加の長さが計算され、フラッグ用に残った追加長さ分のラベル材料で該当のワイヤー/ケーブルを完全に包みます。

注：定義済みのダイカットメディアを使用する場合、Flag Length と Cable Diameter のフィールドはグレーで表示され、入力できない状態になっています。

---

6. 完了したら、 OK に移動してエンター を押します。

選んだフラッグのデザインによって、テンプレートには回転機能が組み込まれています。ジャスティフィケーションはデフォルトでは縦横に対して中央揃えで、自動サイズ調整もオンになっています。

選んだデザインにテキストが 1 種類しかない場合、プリンターは自動で入力したテキストを他のエリアにコピーし、定義済みのレイアウトにしたがって回転させます。

テキストの要素が 2 種類あるレイアウトでは、テキストを 2 つの別々のエリアに入力します。
[Alt + Next Area/Prev Area]キーを使って別のエリアに移動します。どのエリアを編集中かはステータスバーに表示されます。

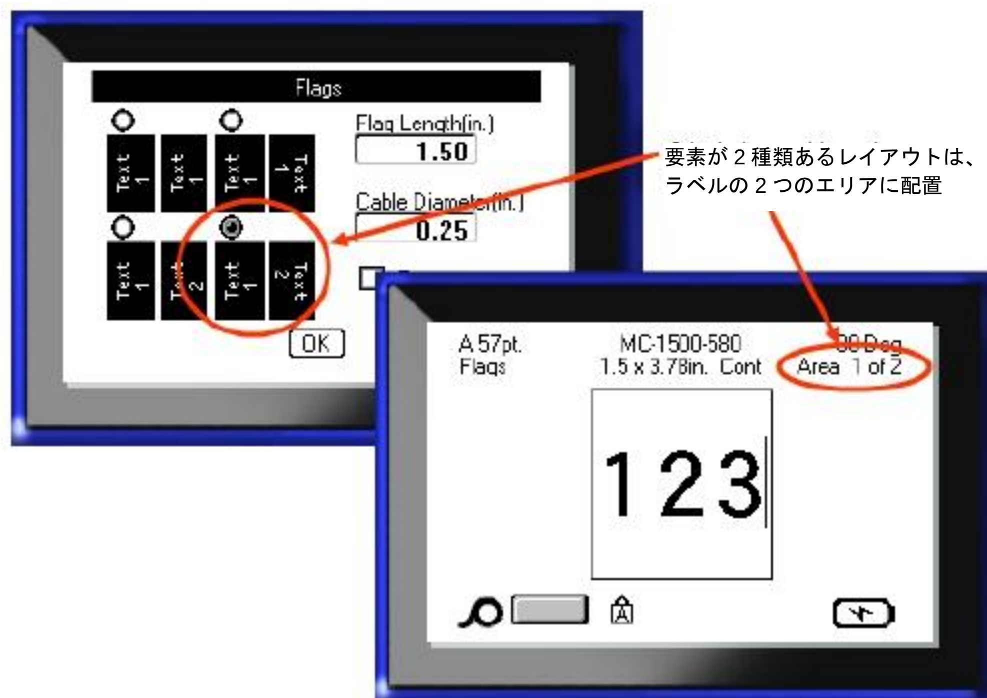


図 36：Flag の設定に基づくエリア数

110-Block、Bix Block ラベルタイプ

110-Block と Bix Block は次の専用のラベルパーツのみ使用します。

- 110-Block：MC-475-412 または MC-412-422
- Bix Block：MC-625-412 または MC-625-422

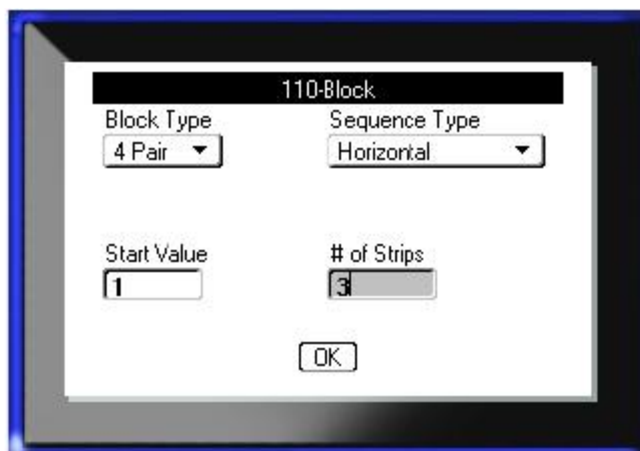
110-Block ラベルタイプはユーザーの選択したペア設定に基づき、ラベルの長さは選択したペアタイプによって決まります。ラベル幅は 110-Block 固有の幅 0.475 インチになります。
110-Block ラベルの長さは 7.5 インチで、一片の全長は 7.9 インチになります。エリアの数とフォーマット設定は選択したペア設定とシリアル化設定に基づきます。

Bix Block テンプレート情報は 110-Block と大体同じですが、ラベルの幅と長さに違いがあります。ラベル幅は Bix Block 固有の 0.625 インチです。長さは 6.2 インチで、一片の全長は 6.6 インチになります。

110-Block または Bix Block を使用するには、以下の手順に従います。

1. Label Type を押します。
2. 110-Block または Bix block に移動し、エンター を押します。

ダイアログボックスが表示されるので、追加の情報を入力します
（ダイアログボックスの操作については 23 ページを参照してください)。



110-Block や Bix Block では、作成されるエリアの数は選択したペア設定によって決まります。

- 2 ペア＝24 エリア
- 3 ペア＝16 エリア
- 4 ペア＝12 エリア
- 5 ペア＝10 エリア
- 空白＝2 エリア

縦横の区切り線が自動で設定されます。

次の図に、選択した Block タイプ（2 ペア、3 ペア、4 ペア、5 ペア、空白）に基づくエリアを示します。「空白」のラベルでは、2 つのエリアで印刷範囲全体がカバーされるようフォーマットされます。

2 pair

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	

Blank

	Text entered in area 1 prints here	
	Text entered in area 2 prints here	

図 37：ペア設定の例

3. *Block Type* フィールドのドロップダウンリストで、ペア設定を選択します。

Sequence Type では、シリアル化の方法とシリアル化が必要かどうかの設定を指定します。None を選んだ場合、エリアは空白になりエリアごとに別々にデータを入力できます。水平（横）ではエリアごとに開始値から数値が一つ増えていきます。

Backbone のシリアル化では、各ストリップの左端のエリアに数値が 2 つ印刷されます。1 つ目の数は左寄せで、2 つ目は右寄せになります。それ以外のエリアは右寄せの数値 1 つで印刷されます。

2 pair - none

2 pair - horizontal

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24

2 pair - backbone

1 2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
25 26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48

図 38：シーケンスタイプの例

4. *Sequence Type* フィールドで、ドロップダウンリストから使用する Sequence Type を選択します。

5. *Start Value* フィールド（*Sequence Type* フィールドで「None」を選んだ場合を除く）に、シーケンスの開始値を入力します。

6. *# of Strips* フィールドに、選択したブロック設定で作成するストリップ（ラベル）の数を入力します。

注：データをシリアル化する場合、追加ストリップは前のストリップの最後の番号からシリアル化を引き継ぎます。
例えば、4 ペアのストリップを 2 枚作る場合、最初のストリップの値は 1～12 で、次のストリップは 13～24 になります。

---

7. 完了したら、OK に移動してエンター を押します。

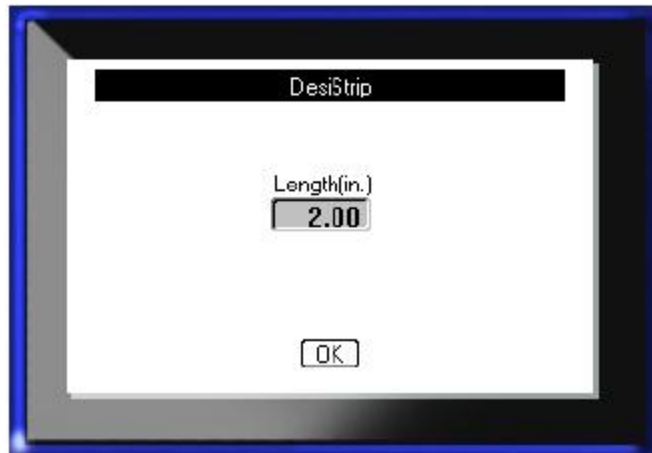
DesiStrip

DesiStrip を作成するには、以下の手順に従います。

1. Label Type LABEL TYPE FILE を押します。
2. DesiStrip に移動し、エンター を押します。

デフォルトの長さは 1.5 インチです。長さを変えるには、以下の手順に従います。

3. Length フィールドで、バックスペース ← CLEAR を押し、デフォルトの長さを消去します。



4. 個々のストリップの長さを新たに入力します。
5. OK に移動して、エンター を押します。

空白ページ

トラブルシューティング

BMP®41 ラベルプリンターのトラブルシューティングと性能上の問題の診断については、下の表をご参照ください。奨励する対策を行っても問題が解決しない場合は、Brady のテクニカルサポートグループ（www.bradyid.com）までお問い合わせください。

問題	原因	対策
ハードウェア		
ヘッド温度上昇	プリンターヘッド過熱	プリンターヘッドが最高動作温度に達しています。プリンターヘッドを 10 分位冷やしてから印刷ジョブを再開してください。
キーボードが時々、またはまったく動かない。	キーが 1 個または複数、下にはまった状態になっている。	下にはまっているキーを探し、それを押して元の位置に戻してください。
エラー：“Locking lever not closed Close lever.（ロックレバーが閉じていません。レバーを閉じてください）”	ロックレバーがロック位置にない。	ロックレバーを右（ロック位置）に動かしてから、カバーをカチッというまで押し下げてください。
カッターが切れない。	ラベルの一部がカッター部に挟まっている。	ピンセットやラジオペンチなどの小道具でメディアの切れ端をカッター部から丁寧に取り除いてください。その時カッター部を破損しないように注意してください。心配な場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。 **WARNING** 指で切れ端を取ろうとしないでください。カッター部には鋭利な部品があり、指を切ってしまう可能性があります。

問題	原因	対策
ハードウェア（続き）		
ラベルが詰まり、フィードできない。	ラベル出口が塞がっていて、ラベルがプリンターの方に逆流してしまう。	プリンター内部の詰まりを取るには、 1. プリンターカバーを開ける。 2. ロックレバーをロック解除位置に動かす。 注：ロックを解除するとプラテンが引っ込み、カートリッジが取り出せるようになります。詰まりが大きい場合、ロックレバーを解除位置に動かすのに力が必要な場合があります。 3. カートリッジを取り出す。 4. ピンセットかラジオペンチでラベルの詰まりを取る。 WARNING プリンターヘッドは破損しやすい部品です。金属性の物で詰まりを取ろうとするとプリンターヘッドに傷やへこみ、ひびを付けてしまうことがあります。詰まりを取り除く時は十分に注意してください。
電源オン/オフ – プリンターが動かない		
電源をオンにしてもプリンターが起動しない。	バッテリーパックが充電されていない。	プリンターに AC アダプタを接続し、コンセントに差してください。直ちに電源が供給され、同時にバッテリーの充電も始まります。
画面が固まる。	ユーザーインタフェースのエラー	1. 電源ボタンを押してプリンターをオフにする。 電源ボタンでプリンターをオフにできない場合は、 2. AC アダプタを外す（つなげている場合）。 3. バッテリーパックを外し、すぐに入れ直す。 4. プリンターの電源をオンにする。
プリンターの電源が頻繁に落ちる。	バッテリー残量が少ない。	プリンターに AC アダプタを接続し、コンセントに差してください。直ちに電源が供給され、同時にバッテリーの充電も始まります。

問題	原因	対策
電源オン/オフ – プリンターが動かない（続き）		
プリンターの電源が頻繁に落ちる。	自動停止のタイミング	Setup>Config メニューで Shut Off Delay の時間を調整する（29 ページ参照）。
プリンターが反応しない。	バッテリーが切れている。	AC アダプタを接続してプリンターに電源を供給、バッテリーを充電する。 または、 新しいバッテリーに交換する。
エラー – “Cut while printing（印刷中に切断されました）”	ラベルを印刷中にカッターを動かした。	１． 完全に切断する。 ２． Clear キー FN + ← CLEAR を押してエラーを解除する。 ３． ラベルを再印刷する。
印刷品質		
印刷品質が悪い。	バッテリーパックが消耗していて十分に蓄電できない。	バッテリー寿命は使用状況や手入れ状況によって約 1～3 年です。交換用バッテリーパックをお求めください。
印刷品質が悪い。	プリンターヘッドにゴミや付着物が溜まっている。	プリンターヘッドを清掃する（プリンター清掃については 104 ページを参照）。
印刷品質が悪い。	ラベル不良である。	ラベルを交換する。

問題	原因	対策
印刷品質（続き）		
印刷したテキストに空白部分や空白行が出てくる。	リボンに皺が寄っている。	1. プリンターからカートリッジを取り出し、リボンの皺や破損がないところまで巻き取りスプールを時計回りに回す（通常は 1～2 回転）。 2. カートリッジをもう一度取り付け、印刷を通常通り再開する。 または、カートリッジを交換する。
		スプールを時計回りに回してリボンを巻く
ラベル		
ラベルがフィードされない。	ラベルロールの先端が平でない、または切れている（まっすぐでない）。	ハサミでラベルロールの先端をまっすぐに切る。
印刷が圧縮される、位置がずれる。	プラテンローラーが汚れている。	ラベルトレーから最後に切り取ったラベルが取り除かれているかどうか確認する。 プラテンローラーを清掃する（清掃については 104 ページを参照）。
ダイカットラベルの位置合わせが悪い。	ラベルノッチの破損	ハサミでラベルロールの先端をまっすぐに切る。 カートリッジを扱う時はラベル素材を破損しないよう注意する。

問題	原因	対策
ラベル（続き）		
エラー – "Out of Media（メディア切れ）"	ラベル/メディアメモリデバイスでのカウントがゼロになっている。ラベル/メディアのロールホルダコアの基板にはメモリデバイスがあり、ラベル/メディアサプライの未使用分がどれくらい残っているかプリンターに知らせている。メモリデバイス搭載のロールホルダを再利用するとカウントがゼロになってエラーが発生する。	1. ラベル/メディア、またはラベル/メディアのロールホルダを交換する。 2. [CLEAR/ESC]キーを押してエラーを消去する。
エラー – "No media installed（メディアが取り付けられていません）"	ラベル/メディアロールの基板が破損している。	1. ラベル/メディアロールを交換する。 2. [CLEAR/ESC]キーを押してエラーを消去する。
エラー – "No media installed（メディアが取り付けられていません）"	下部プリンターベースのレシーバスロットのコンタクトが破損。	テクニカルサポートに問い合わせる。
エラー – "Top of form（紙送り）"	ラベル/メディアまたはリボンが詰まっている	1. プリンターカバーを開けてフィードローラーや出口付近の余分なラベルを除去し、詰まりを取り除く。 2. [CLEAR/ESC]キーを押してエラーを消去する。
プログラム		
ファイルに取り付けたメディアと互換性がない。	保存されたファイル（または電源オフ時のファイル）は現在取り付けられているメディア用に作られているものではない。	互換性のあるメディアを入れる。
メディアに選択した用途と互換性がない。	取り付けたラベルは用途の要件に適合しない（ダイカットメディアに 110-Block を適用しようとした、など）。	互換性のあるメディアを入れる。
無効なターミナル繰り返しの値を入力した。	入力した値は範囲を超えている。	指定できる範囲は最小 0.2 インチから最大 40 インチの間。

プリンターの清掃

プリンターを清掃することで、印刷品質と読みやすさが向上します。また、プリンターの出力、機械寿命、信頼性、性能も向上します。

表示画面

表示画面を清掃するには、以下の手順に従います。

1. イソプロピルアルコールを含ませた柔らかい（傷を付けない）布で軽く湿らせる。

   または、
   Brady PCK-6 クリーニングキットで入手できる帯電防止ウェットタイプの布を使用する。

2. 表示画面をきれいになるまで優しく拭く。

内部部品

清掃する必要のある内部部品はプリンターヘッドとプラテンローラーのみです。
内部部品を清掃するには、以下の手順に従います。

1. プリンターの電源をオフにします。
2. プリンターカバーを開け、プリンター内にカートリッジがあれば取り出します。

注：ロックレバーが UNLOCK の位置にあることを確認してください。その位置でないと、プリンターヘッドにアクセスできません。

---

3. 糸くずの出ない綿棒をイソプロピルアルコールで湿らせ（または Brady PCK-6 クリーニングキットの綿棒で）、プリンターヘッドを優しく掃除します。
4. 同じ綿棒で、プラテンローラーを優しく拭きます。

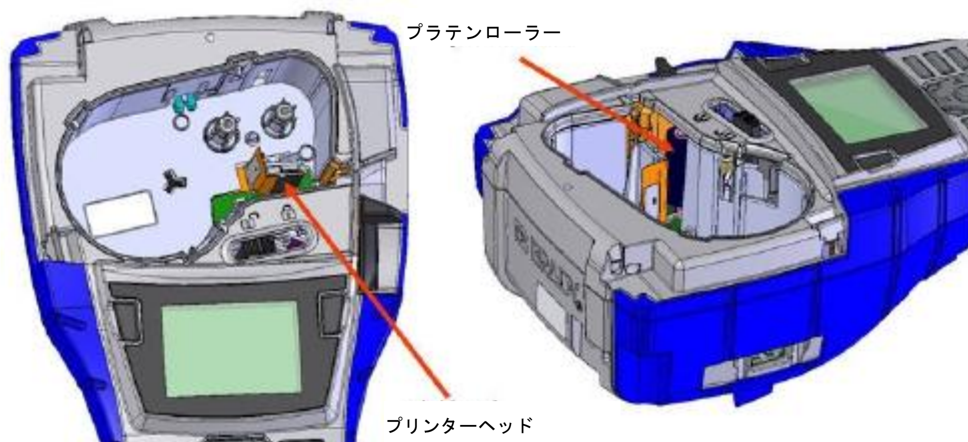


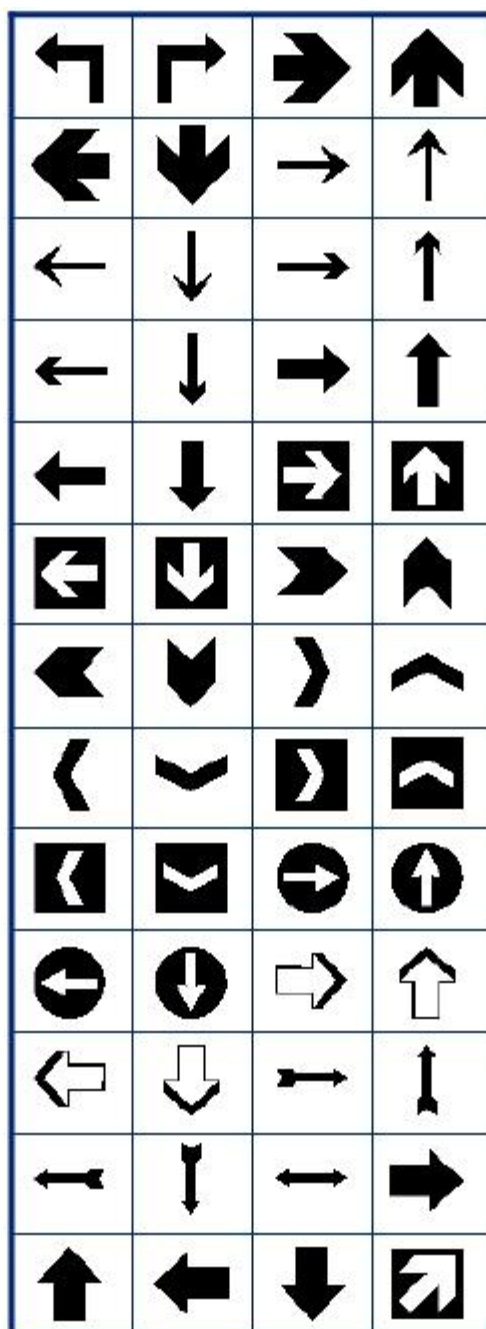
図 39：カートリッジベイのプリンターヘッドとプラテンローラー

付録 A – 記号

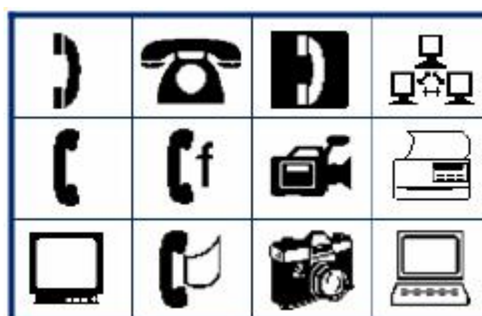
有効なアプリケーション用の記号は使用中のアプリケーションやラベルタイプに関係なく使うことができます。

記号をラベルに入れる方法については、45 ページを参照してください。

矢印



データ通信



電気

出口

EXIT

火災

応急処置

CLP/GHS



HSID



ギリシャ文字



国際



実験室

NON STERILE	STERILE		LOT
STERILE A		STERILE EO	
STERILE R		STERILE	
CONTROL		CONTROL -	
CONTROL +		IVD	REF
SN	IN ANALYSIS		

実験室（続き）

CONFIDENTIAL			♀
		#	

必須事項



その他



梱包



PPE



禁止



公共情報



安全


DANGER
WARNING
CAUTION
DANGER
WARNING
CAUTION
NOTICE
NOTICE
SAFETY FIRST
RESTRICTED AREA
RADIATION

警告



WHMIS